



## 1日の野菜摂取目標は どのくらい？

「市民生き生き健康フェスティバル (11/18)  
～食育コーナー～」

DECEMBER. 2006

# 12

No.41

### 主な内容

- 特集「食を考える～安全・安心は財産です」
- 平成17年度決算状況
- 市職員給与公表
- 地産地消推進店の紹介
- 農業所得計算のお知らせ
- 登米市成人式を開催します
- 9町トピックス
- 市民の広場
- 市からのお知らせ・暮らしの情報

# 食 を考える

安全・安心は財産です。

東北一の長さを誇る北上川や栗駒山を源とする迫川などの豊かな水の恵みと、干拓や開墾など先人たちのたゆまぬ努力によって築かれた登米耕土。

その豊かで広大な耕地を擁する登米市は、県内でもトップクラスの農業生産額を誇ります。粘りと甘みが魅力のひとつめぼれや、すし米に最適といわれるササニシキは、その多くが人と自然に優しい環境保全米として栽培されています。

全国的に味の均質化が進んでいるといわれる中、この地域では、「はつと」「油ふ」「ずんだ」などに見られる、

独特の郷土料理と加工品があり独自の食文化が築かれています。

また、皆さんに安全で安心な食材を届けるために、そして食べてもらうために、関係する人たちによるさまざまな工夫や努力、挑戦が行われています。

今月号では、市内で生産された豊かな食材で、郷土の食文化の継承につながる地産地消や、

生涯にわたって生き生きと暮らしていく源となる食育の活動、

生産者や販売者などの取り組みを紹介します。



SAFETY

**食**を考える  
安全・安心は財産です。

# 登米市の未来と 子どもたちの明日のため 安全で安心な土台を作る

## 培われてきた技術 情熱と実績が認められ

江戸時代初期、初めて仙台藩の米が江戸に運ばれ、その当時から本場の米といえば仙台米、別名本石米と  
言い伝えられてきました。

この名声を受け継がれた宮城県に  
おいて、北上川や迫川などの水量豊  
かな河川に恵まれた登米市は、その  
本石米の名前を今に継ぐまちとして、

良質米生産の先頭を歩み続けている  
産地です。

昨年11月、米・食味鑑定士協会が  
主催する「第7回全国食味分析鑑定  
コンクール」において、有機栽培米  
の部で石井稔さん（登米町）の「ひ  
とめぼれ」が金賞を受賞しました。

また、今年3月には、「第11回環境  
保全型農業推進コンクール（全国環  
境保全型推進会議主催）」で、(有)板倉  
農産（阿部善朗代表取締役・南方町）  
が大賞となる農林水産大臣賞を受賞。  
稲わらや米ぬかなどを利用するリサ  
イクルシステムの確立と、児童への  
米作り体験学習などを通じて、食育  
に関する取り組みなども認められま  
した。

さらに同月、農業部門の最高賞と  
いわれる「第35回日本農業賞（J A  
全中、J A都道府県中央会、NHK  
主催）」で、意欲的な経営や技術の改  
革、地域農業の発展に貢献したとし  
て、J Aみやぎ登米稲作部会連絡協  
議会（丸山祐亀代表・東和町）が集  
団組織の部で名誉ある大賞を手にし  
ました。

## 増える環境保全米の生産 より安全・安心な土台を

環境保全米は農薬や化学肥料を使  
用せず、または使用する場合でも、  
その量を必要最小限に抑えて栽培す

るため、除草などの作業が増え、時  
間や手間などがかかります。また、  
病害虫が原因で通常の収穫量が見込  
めない心配もあります。最近は取り  
組みが増えてきているといわれてい  
る環境保全米ですが、このような理  
由から、全国的にはまだまだその取  
り組みが多いとはいえません。

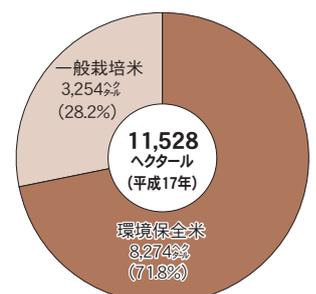
一方、消費者は健康を考えた食品  
を選ぶ傾向が強まってきており、低  
農薬・有機肥料で栽培された安全で  
安心な環境保全米を購入する動きが  
強く見られるようになりました。

このような消費者の声をいち早く  
取り入れ、環境保全米の生産に取り  
掛かった個人や集団組合など市内の  
農業者。より安全・安心な米を消費  
者に届けようと、環境保全米への取  
り組みが市全体に広まっています。

市内における稲作を営む農業者は、  
平成17年で1万843戸、作付面積  
は1万1,528畝。そのうち、環  
境保全米（有機農産物及び有機農産  
物加工食品の検査認証制度（J A S  
有機米）、「みやぎの環境にやさし  
い農産物表示制度」、「特別栽培農産  
物に係る表示ガイドライン」に基づ  
くもの）に取り組み農業者は5,5  
10戸で、全体の50・8%、作付面  
積は約8,274畝と、市全体の71・  
8%に上ります。【図1】

宮城県全体の取り組み面積は約1  
万4,395畝であり、県で生産さ  
れる環境保全米の6割近くが登米市  
産となっています。

【図1】 登米市の環境保全米  
の取り組み割合



## 無農薬にこだわる アイガモ農法

南方町の大久保芳彦さん（J Aみやぎ登米稲作部会連絡協議会南方水稲部会長・会員105人）は、平成9年からアイガモ農法を米作りに取り入れた、県内でも無農薬・減農薬栽培の先駆的な存在です。

アイガモ農法とは、アイガモを水田に放して、ふんを肥料にしたり、害虫や雑草を食べさせたりして、化学肥料や除草剤などを一切使わないで稲を育てることをいいます。

大久保さんがアイガモ農法を始めたのは、農産物の輸入自由化による外国産米の輸入開始など、米を取り



大久保 芳彦 さん (48歳)  
南方町高石



環境保全米のくず米を与えたアイガモを水田に放す大久保さん夫妻



5月は田植えとアイガモの飼育で大忙し。家族総出で作業を行います



アイガモ農法はアイガモが水田の害虫や雑草を食べ肥料となるふんを排出して稲の生育を手伝います

### 生産者から消費者へ 浸透する安全・安心

大久保さんは現在、約9畝の水田を耕作。そのうち、1・8畝をアイガモ農法で栽培しています。使用するアイガモは、5月上旬にひなを購入し自宅にくず米を与えながら飼育。田植えの約10日後、10羽

「当時、南方地区の農家一軒の平均耕作面積は約1・7畝でこの数字はアメリカの百分の一。コストを下げるにも限界があります。そこで登米地域の未来と子どもたちの明日のために、安全で安心な土台を作る必要だ」と思い、無農薬で有機肥料を使ったこだわりの米づくりに挑戦しました」と大久保さんは熱く語ります。

「わたしたち生産者は、いつも食べていたたく人をイメージし、安全・安心な米を生産しようと努力しています。消費者の皆さんには、米が出来上がるまでをイメージしてもらいながら、安心しておいしく食べてもらえればうれしい」。大久保さんの「安全・安心」への土台作りは、地域の生産者仲間、そして消費者の皆さんへ確実に伝わっています。

「わたくしたち生産者は、いつも食べていたたく人をイメージし、安全・安心な米を生産しようと努力しています。消費者の皆さんには、米が出来上がるまでをイメージしてもらいながら、安心しておいしく食べてもらえればうれしい」。大久保さんの「安全・安心」への土台作りは、地域の生産者仲間、そして消費者の皆さんへ確実に伝わっています。

当たり10羽程のアイガモを放します。タヌキ、イタチなどの天敵からアイガモを守るため、水田の周りには防御用のネットを設置。毎日朝晩の見回りで、アイガモが安心して「仕事」ができる環境を作っています。このような管理のもと、アイガモが害虫や雑草を食べ、排出したふんを肥料として育った稲は、10月中旬に刈り取り、11月には安全・安心な環境保全米として消費者の食卓に届きます。

食を考える  
安全・安心は財産です。

# 消費者の「おいしい」 の一言を頭に浮かべて 環境にやさしい野菜を

## 市内に広まる認定農業者と エコファーマー

高齢化や担い手・後継者不足、農産物価格の低迷など、深刻な状況に直面している農業環境。これらを解決するための一つとして、国では地域農業を担う農業者の育成を旨とし「認定農業者制度」を実施しています。この制度は、農業経営基盤強化促進法に基づき、農業者が立案した経営計画を市が認定し、その計画の実現に向けた取り組みを、関係機関や団体が連携して支援していくこととするものです。

現在市内の認定農業者は884人。この人たちが中心となり、農業経営の効率化が進められています。

一方、自然や環境、人に配慮した農業を進める「エコファーマー制度」も実施。これは、有機質の堆肥などを用いた土づくり、化学肥料や農薬の低減による農作物の栽培を行う環境保全型農業に取り組む農業者を支援する制度です。

認定された農業者は、農業機械や施設などの導入時に償還期間の長い資金の借り受け、所得税の税額控除などの特例を受けることができます。市内で認定を受けているエコファーマーは、平成18年9月現在で1,511人。県内では最多の認定者数で、環境を重視した取り組みが進んでいる地域であることが分かります【図2】。

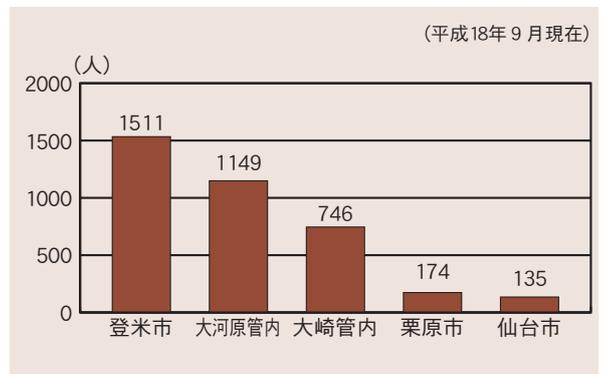
それぞれの農業者が米や野菜、果樹、花きなどの分野で、安全・安心な農産物を生産するために、日々さまざまな努力が重ねられています。

## 環境に配慮した農薬などの 使用で良質な新鮮な野菜を

登米市は、キャベツやキュウリの品質が最上級として市場評価が高く県の指定産地となっているほか、ニラやトマト、イチゴなどの園芸作物の生産も盛んなまちです。

野菜づくりに適した肥沃な農地2・1畝で、「地中海キャベツ」を栽培するのは、米山町の及川健吉さん

【図2】 県内のエコファーマー認定者数の状況



秋の収穫時は朝から晩まで大忙し。家族全員で箱詰め作業などを行います



及川 健吉 さん (57歳)  
米山町齊藤

「JAみやぎ登米キャベツ部会長・会員83人」。及川さんは、認定農業者とエコファーマーの認定者で、キャベツ作りは18年目のベテランです。キャベツは地中海地方が原産地。地中海キャベツのネーミングは、地中海にあやかり名前を付けた、南方町のキャベツ生産組合「地中海クラブ」から取ったものです。農協が合併した現在は、部会で統一して使用

し、ブランド化を進めています。

収穫は春と秋の年2回、合わせて約2万ケースを出荷しています。化学肥料の窒素成分施用量や、農薬使用量を通常栽培の80%以下とするエコファーマーの基準に基づき、肥料は有機質のものだけを使ったり、環境に配慮した農薬の散布回数を制限して使用したりしています。

また、良質で安全なキャベツの生産を目指し、除草剤を一切使わない農法にも積極的に取り組んでいます。秋の収穫は11月が最盛期。奥さんと後継者の息子さんと3人で、キャベツの玉の部分丁寧丁寧に包丁で切り取り、大きさの大小によって6・8・10玉入りの箱に詰め込みます。早朝からの作業によって一つ一つ大切に収穫された成果品は、JAみやぎ登



真心込めて育てた地中海キャベツを一つ一つ丁寧に収穫する及川さん

米農協を通じて、仙台市中央卸売市場や東京方面に出荷されます。

「消費者皆さんの『おいしい』の一言を頭に浮かべながら、低農薬、有機肥料により良質で安全なキャベツを真心込めて育てています」とキャベツ作り18年目のベテランは、自信を持って話します。

### 全市的なレベルアップで 安全・安心への挑戦に挑む

J Aみやぎ登米キャベツ部会長も務める及川さんは、個人の品質・技術向上や研究もさることながら、部会全体のレベルアップを目指しています。消費者が求める安全で安心なキャベツ作りには、これまで得た知識や習得した技術、経験を会員相互で話し合ったり、教え合ったりすることが重要だと考えるからです。

また、現在部会に所属する会員83人全体の作付面積は44畝。部会では市場評価を高めるために、将来的には百畝の作付面積を目標とした作付拡大にも取り組んでいます。

「キャベツは気候などによって、不作や品質が低下するときもありますが、消費者の皆さんにおいしく食べてもらうため、今後も低農薬栽培などの環境に配慮した農法を研究・実践していきたい。そして安全で安心な登米市の『地中海キャベツ』を、市内外に広めていければ」。及川さんの「安全・安心」への挑戦は続きます。



道の駅林館で出荷組合員が丹精を込めて生産したムラサキシメジを購入する来店者

**食**を考える  
安全・安心は財産です。

## 地場産品の安全・安心 生産者の真心を 創意工夫で消費者へ

### 市内に4カ所ある「道の駅」 農産物の直売所も各地域に

地元の農産物や特産品も販売する施設などがある道の駅（国土交通省管轄）は、平成18年11月現在で全国で845カ所、東北には119カ所設置されています。

宮城県内の設置数は11カ所で、そのうち市内には、「津山」「米山」「林館（東和）」「みなみかた（南方）」の4カ所あり、県内における設置割合は、登米市が群を抜いています【表1】。これは、それぞれの地域が

特色ある農産物を生産している証しでもあるといえます。

また、新鮮な地場産品が気軽に購入できる農産物直売所も、市内各地域に設置されており、そのほか民営の直売所や小売店なども多数あります。

こうした道の駅や直売所では、地元の農業者が生産した米、野菜、果物、肉、加工品などを、それぞれが創意工夫を凝らした販売方法を取り入れながら、生産者の真心を消費者の元へ届けています。

### 登米の味を存分に楽しむ 「とめ・ふるさと食財の日」

流通網の広域化で、外国や国内の他地域で生産された食材が手に入りやすくなり、地元で生産した食べ物を口にする機会が減ってきています。また、食品の不適切表示や無登録農薬の使用などの問題も全国的に発生し、食品への信頼が低下傾向にあります。

そうしたことを受け、市では「食材は財産」という考えのもと、今年4月から、毎月第3日曜と直前の金曜、土曜の3日間を「とめ・ふるさと食財の日」に制定。市内産の安全で良質な農産物を、小売店や農産物直売所、旅館、飲食店などの協力により、地域で生産したものを地域で消費する地産地消運動に取り組んでいます。

市内の道の駅や農産物直売所の食

堂、レストランでは、毎月食財の日に地域食材を使った「地域ランチフェア」を開催。山菜料理や郷土料理など、その地域でしか味わえないふるさとの味を提供しています。

そのほか、期間中は市内産の農産物などを積極的に取り扱う運動も行っており、毎月市内外から多くの人たちが訪れています。

## 独自のメニューを考案 地域食材の特性を生かす

県内最大の湖沼「長沼」にある、オランダ風車で有名な長沼フットピア公園の敷地内に、「迫町ふるさと物産館(佐藤信也店長)」があります。ここでは、併設しているレストランで毎月、食財の日に地域食材をふんだんに使ったランチを3日間限定で提供しています。

レストランにはもともと約30品のメニューがありました。食財の日



### 【11月の地産地消ランチメニュー】

- 新米のひとつめぼれと迫町産のみそを使用したみそおにぎり
- 市内産の小麦を使用したはっと汁
- 迫町産の赤豚と大根を使用した煮物

【表1】 県内の道の駅

No.	道の駅名	所在地	特産品
1	七ヶ宿	七ヶ宿町	炭製品などの蔵王山麓産品
2	津山	登米市津山町	杉矢羽模様の木工芸品、油ふなど
3	三本木	大崎市	ひまわりナッツ、ひまわりクッキー
4	路田里はなやま	栗原市	自然薯、山菜、きのこ
5	大谷海岸	本吉町	大島まんじゅう、水産加工品
6	おおさと	大郷町	モロヘイヤ、大郷みそ
7	米山	登米市米山町	イチゴジュース・アイス、紅花の染め物
8	あ・ら・伊達な道の駅	大崎市	つと納豆、凍り豆腐、田舎しそ巻き
9	林林館	登米市東和町	山菜、きのこ、林産物、工芸品など
10	上品の郷	石巻市	水産物、林産物、加工品など
11	みなみかた	登米市南方町	もっこりニラ・和牛、バイキングレストラン

### 市内の道の駅、農産物直売所



- ①道の駅津山「産直ときめき野菜」(津山) ②道の駅林林館「森の茶屋」(東和) ③道の駅米山「ふる里センター-Y・Y」(米山) ④道の駅みなみかた「もっりの里」(南方) ⑤産直なかだ「愛菜館」(中田) ⑥とよま観光物産センター「遠山之里」(登米) ⑦産直がんばる館(豊里) ⑧迫町ふるさと物産館(迫) ⑨豊里町ふるさとセンター(豊里)

の制定をきっかけに、佐藤店長が簡菜(空芯菜)を用いた「野菜炒め定食」など独自のメニューを考案。砂糖や塩などの調味料以外はすべて地元産の食材で賄っています。

これまで提供してきた地産地消ランチメニューは、市内産の小麦を使った「はっと定食」、地元農家が育てた赤豚の「ヒレカツ定食」など。原材料や調理方法の紹介をしながら提供している。お客さんの評判も良く、食財の日の3日間は客足が途絶えません。

また、夏場限定の「筒菜ソフトクリーム」が味わえ、併設する直売所で新鮮な野菜やハム、ウィンナーなどの加工品も購入できるなど、市内でも人気の直売所となっています。

## 自慢の山の幸が大人気 特別ランチは毎月完売

自然豊かな森林に囲まれた「道の駅林林館(熊谷信昭)」は、国道346号沿いの東和総合支所隣りにあります。

直売所とレストランがある「森の茶屋」では、食財の日にさまざまなイベントを開催。直売所では3日間限定で特設コーナーを設置し、季節の新鮮野菜、特産物を通常の価格から割り引きして販売しています。

また、春にはワラビやゼンマイなどの山菜類、秋にはマイタケやムラサキシメジなどのキノコ類が並び、東和自慢の山の幸を買い求めに、市内外から多くの人が訪れます。

レストランでは、食財の日の3日間に、特別ランチを1日20食限定で販売。これまで「揚げ茄子のきのこあんかけ定食」、「りんごタルト」、「カボチャ入り味噌煮込みうどん」など、熊谷駅長と料理長が考案したオリジナルのメニューを提供してきました。低価格ということもあり、毎月瞬く間に完売しています。

そのほか、キリシタンの里にちなんだ「森のキリシタンメン」、国道346号にかけた「ラーメンさんしろ」など、めん類を中心とした30品以上のメニューも人気です。

こうした直売所の商品やレストランの原材料は、道の駅出荷組合の会員53人が丹精を込めて生産したもので、地産地消を実践しています。

## 地域の役に立ちたい 毎日が食財の日

ハクチヨウやガンなど、渡り鳥の飛来地として有名な伊豆沼を有する登米市。その玄関口に、農業生産法人(有)伊豆沼農産(伊藤秀雄代表取締役)が経営する直売所とレストラン「くんべる」があります。

伊豆沼農産は今年6月、地域の食生活に重要な役割を果たしたとして、農林水産省から「総合食料局長賞」を受賞。平成14年には「第6回みやぎものづくり大賞奨励賞」に輝くなど、数々の栄誉を手にしてきた市内の産業をリードする企業です。

直売所では、地元産の野菜や米、果物をはじめ、漬産した野菜や米、果物をはじめ、漬



伊豆沼農産の直売所には、地元産の野菜や米、果物などのほか、自慢の「伊豆沼ハム」商品がズラリと並んでいます

物、みそ、パン、ハム、ウィンナーなどの加工品が店頭に並んでいます。中でも、今年ドイツで開催された「SUFPA(ドイツ国際食肉加工品コンテスト)」において、2部門4製品で金賞を獲得したハムや、地元産の赤豚を生産している会員8人が愛情を注いで育てた「伊達の純粋赤豚」の肉をじっくり熟成させ、併設する工場加工した焼豚やみそ漬けが伊豆沼農産自慢の商品です。市内外の直売所、小売店、飲食店などへの出荷に加え、平成16年には香港への輸出を開始しています。

また、レストラン「くんべる」は、登米地方に古くから伝わる「はっと」などの郷土料理と、地元食材を使った創作料理を混ぜ合わせた「地域料理」が味わえることも特徴。赤豚を使ったしゃぶしゃぶや特製ハンバーグ、さまざまなのはっと料理など、メニューはとても豊富です。

そのほか、伊豆沼農産では、ウィンナー作りやブルーベリー摘み、工芸品教室などの体験教室も行っており、年間を通して市内外から多くの人たちが参加しています。

伊藤さんは「直売所とレストランでは、月に一度の食財の日にこだわらず、毎日が食財の日のもりで営業しています。開店以来、地域の人たちと一緒に頑張ってきたので、お客さんからの『おいしかったよ』の声掛けが一番ありがたいです」と語っています。



伊豆沼農産では赤豚会員が愛情を注いで育てた「伊達の純粋赤豚」を加工してウィンナーを製造しています

## 商品のほとんどが地元産 産地名を書き入れて表示

城下町の面影を残す中田町石森地区に、野菜や果物、菓子、加工品などの食品を扱うフードショップ及川マーケット（及川晴夫店長）があります。

及川マーケットは及川さん夫妻で経営。主に店頭販売や電話注文による町内家庭への宅配販売をしています。このほか、給食センターや保育所、社会福祉協議会などへ野菜や果物などの納品もしています。

市が地産地消を進めるために、今年度から新たに始めた「地産地消推進店認証制度」の認定を受けており、扱っている旬の野菜や果物などのほとんどは地元産。その大部分は中田町産で、ときには生産者から直接仕入れることもあります。定期的に数量が不足するときは、市内の直売所まで足を延ばして確保する地産地消へのこだわりを持っています。

また、仕入れた商品を店頭と並べるときは、商品名や値段のほかに必ず産地名を表示するなど、消費者の皆さんが安心して商品を購入できるような工夫もしています。

## 地元産へのこだわり 地産地消を支える力

及川マーケットのもう一つの特徴は、お客さんからの要望があれば、店で扱っていない商品でも届けるこ



及川さんは仕入れた野菜や果物などを店頭と並べるときに、商品名や値段のほか、必ず産地名を書き入れて表示しています

と。宅配のお客さんの多くは車の運転ができない高齢者なので、扱っていない商品を求められた場合でも、サービスで及川さんが代わりに購入するなどして届けています。

「大型店進出の影響で、わたしたちのような小売店の経営は大変厳しい情勢になっています。しかし、地元産の商品を中心に扱うようになってから、お客さんの反応が変わってきました。求めてくれる人がいる限り、地元産の商品にこだわって商品を届けていきたい」。及川さんは登米市の地産地消を支える一人です。

## 登米市の宝、人、物、環境でまちおこし

登米市の宝物の人や物、環境などを掛け合わせ、まちおこしのシステム構築を考えています。農村、農家でしかできないことなどをやっていければ、市のイメージアップにもつながるし、若い人や高齢者の雇用の場も確保でき、まちが活性化されると思います。

### ■(有)伊豆沼農産代表取締役

伊藤 秀雄 さん

(49歳・迫町大形)



## 安全安心な地域の食材でメニューを

これからも地元の安全安心な食材を使って、このレストランでしか味わえないメニューを考案・提供していきたい。また、直売所の野菜はすべて地元会員が生産したのですが、せっかく合併したので、市内のほかの地域の野菜や果物なども販売したいと考えています。

### ■迫町ふるさと物産館店長

佐藤 信也 さん

(41歳・本吉町)



### ■及川マーケット店長

及川 晴夫 さん

(55歳・中田町新橋)

昔と比べるとお客さんは減ってきていますが、地元産の新鮮な野菜や果物などを配達したときに、「ありがとう」と声を掛けられると元気や力が出ます。今後もお客さんに求められれば、できる限りのサービスをする「便利屋」に徹して頑張っていきます。

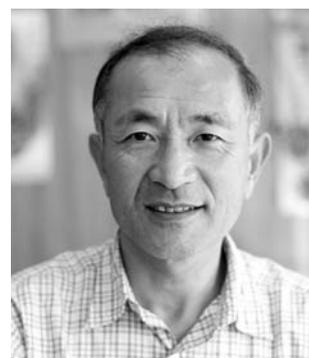


### ■道の駅林林館駅長

熊谷 信 さん

(57歳・東和町米谷第1区)

林林館に勤める以前は、事務関係の仕事をしており、当初は接客業の難しさを痛感しました。現在はスタッフ全員がお客さんの立場にたって接客しています。今後も安全安心で新鮮な商品を提供していきたい、皆さんから愛される駅を目指して頑張ります。



「便利屋」に徹したサービスを続けて

皆さんから愛される駅を目指して



市内産の安全・安心な食材を使用した給食の配膳をする初津小児童

**食** を考える  
安全・安心は財産です。

## 学校給食を通じて 深まる食への関心・理解 安全・安心から食育へ

### 健康にかかわる食育 市内でも広がる取り組み

食べ物にはわたしたちにとって大切なもの。普段何気なく購入し口にしていきますが、国内で生産されたものや国外からの輸入品、原料を輸入して国内で加工するものなど、さまざまな食品が消費されています。

こうした食を取り巻く環境の中、近年は一人一人が健康や生涯を通じた健全な食生活の実現、地域の食文化の継承などに向けて自らの食について考える習慣、食に関する知識、食を選択する判断力、これらを身に付けていこうと「食育」への取り組みが各地で行われています。

市内においても、家庭や学校、団体などでさまざまな取り組みが行われており、食を考える機運がより一層高まってきています。

### 地域食材を学校給食に 給食時の食指導を強化

現在、市立の16幼稚園と27小学校、

10中学校のうち、10幼稚園を除いて給食を実施。調理する給食センターは、共同・単独施設を併せて11カ所あります。

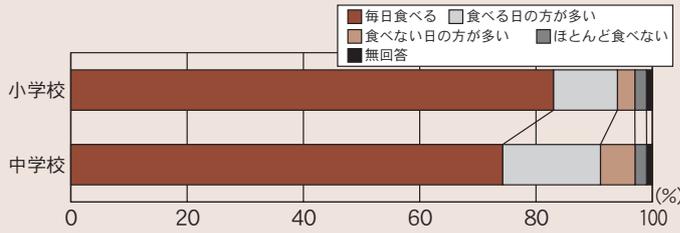
それぞれの給食センターでは、地元産の米や野菜、肉、加工品などを積極的に使用しているほか、食財の日に併せ、市内産のJAS有機米（化学肥料・農薬の使用を避け、たい肥などによる土づくりを2年以上行っているほ場で栽培された米のうち、日本農林規格に合格したもの）も毎月1回使っています。

栄養士や学校の給食主任らで構成する登米市教育研究会学校給食部会では、昨年7月、市内の全児童生徒を対象に食生活に関するアンケート調査を実施。朝食を食べているかどうかや、朝食の種類・理解度などを分析し、その結果を報告書としてまとめました【図3】。

結果は、「朝食を「毎日食べる」「食べる日が多い」と回答した児童生徒がほとんどでしたが、その内容を見ると、主食（ご飯、パン、めん

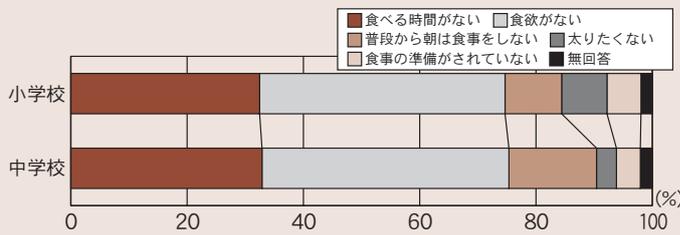
【図3】 登米市の児童生徒食生活に関するアンケート調査結果（抜粋）  
 [対象：市内小中学校児童生徒1,543人]

【問】あなたは朝ご飯を毎日食べていますか？



※小中ともに「毎日食べる」「食べる日の方が多い」がほとんどを占めた。  
 ※中学生では小学生より「毎日食べる」が少し減った。

【問】「食べない日の方が多い」「ほとんど食べない」と答えた人で、朝ご飯を食べない理由は何ですか？（2つまで回答可）



※「食欲がない」がもっとも多く、次いで「食べる時間がない」が多かった。  
 ※理由の3番目に「普段から朝は食事をしない」が多かったため、朝食欠食の習慣化がうかがえる。これは中学生の方が小学生に比べてその傾向が強かった。  
 ※「太りたくない」「食事の準備がされていない」が数人いた。

類など）・主菜（肉、魚、卵など）・副菜（野菜を使ったもの）・汁物（みそ汁、牛乳など）がそろったものではありませんでした。そのため、朝食の大切さを家庭に働き掛けるとともに、給食時の指導も行っています。

**生産地・生産者の紹介で食の大切さ、ありがたさを**

津山学校給食センターでは、地産地消の取り組みとして、給食用の食材を津山町の「もくもく産直組合」

から地元で生産した野菜や加工品を購入。市内の業者が製造するみそ、納豆、油などの調味料や加工品も使っています。

また、配送している柳津小、横山小、津山中の給食時間に栄養士が直接出向き、昼の校内放送を利用して、給食に使用した食材の生産地や生産者などを児童生徒に紹介。その後、各教室を巡回して指導も行うなど、食の大切さ、ありがたさを伝える教育を実践しています。

■インタビュー■

**連携して積極的な取り組みを**  
**吉田美幸さん**（栄養士・石巻市）  
 地域食材を使用する地産地消を含め、食の大切さを学ぶ食育の取り組みも行っています。今後も学校や家庭、地域の方々と連携を取りながら積極的に進めていきます。

**給食のご飯はとてもおいしい**  
**今野雅之くん**（柳津小1年・本町三丁目）  
 朝食は毎日パンを食べています。家のご飯も好きだけど、給食のご飯はおいしいからいつもたくさん食べています。給食のメニューで一番好きなのは、ハウレンソウ入りのオムレツです。

**健康を考えたメニューに感謝**  
**佐々木幸恵さん**（保護者・石貝）  
 年に1回の親子給食。新鮮な食材が使われていて大変おいしくいただきました。毎日子どもたちの健康を考えたメニューを、作成・調理していただいている皆さんに感謝しています。

そのほか、卒業間近の中学3年生を対象に、地元食材なども取り入れた料理をバイキング形式で楽しんでもらう「卒業バイキング給食」も実施しています。

栄養士の吉田さんは「地元産の野菜や果物などは、新鮮でおいしさが違います。これからでもできるだけの地元食材を学校給食に使っていき、子どもたちにおいしく食べてもらいたい」と話します。

**学校から家庭に伝える食育の大切さ**

柳津小で11月の食財の日に、1年生を対象に行われた親子給食。子どもたちがいつも食べている給食を保護者が試食し、家庭における食への

理解を深めてもらうことを目的に、学年PTA行事の一環として実施しています。

もちろん使用している食材は地元産が中心。参加した保護者は、地元食材を一つ一つしっかりと確かめながら味わい、安全で安心なおいしい給食に満足していました。

このときの給食に使われている食材や、給食をおいしそうに食べている子どもの姿など、これらは保護者にとって、家庭で使用する食材を選ぶ際の参考とすることができるよう絶好の機会となりました。

このような取り組みにより、保護者が感じたこと、学んだことなどが、家庭での食育につながっていくといえます。

登米市で作られる「安全・安心」という名のブランド。これはわたしたち市民にとって、かけがえのない財産です。

普段何気なく口にしている「食」には、消費者へ「安全・安心」を届けるために、努力し続け生産する人、創意工夫し販売する人、真心を込めて調理する人などのさまざまな思いや気持ちが含まれています。

わたしたち消費者も、食べることができる喜び、「安全安心」な食材が食卓に届くありがたさなど感謝の気持ちを、常に持っていることが必要ではないでしょうか。

現在市内では、郷土の食文化を継承していくことや生涯健康で生き生きと暮らすために、地産地消の取り組みが進み、食育の活動も広がっています。

これらの取り組みや活動は、忘れてしまいがちになる「食」について見直す良い機会であり、生産者、販売者、消費者などすべての人にとってはもちろんのこと、自然や環境にも大変素晴らしいことです。

わたしたち人間にとって一番大切なのは「健康」。その健康の裏側には必ず「食」があります。

わたしたちの財産である「食財」について、もう一度考えてみてはどうでしょうか。

特集「食を考える」 終わり





地元食材を使った「安全・安心」な給食を味わう保護者とその児童（津山町柳津小）

# 決算状況

市のお金はどのように使われました

## 一般会計では約9億円黒字

合併初年度となる平成17年度の一般会計と特別会計、企業会計の決算が、9月定例議会にて認定されました。合併により、各種事業や事務経費などの効率化が進められたことなどで、一般会計で

は歳入、歳出とも前年度決算に比べ一割以上の減額となりましたが、約9億円の黒字となりました。

一般会計の歳入は400億182万円。内訳は市税、使用料及び手数料などの自主財源が99億4千212万円、全体の約25%、地方交付税や市債などの依存財源が300億

5千970万円、約75%となっており、依存財源の割合が多い財政基盤が地方交付税改革などの影響を受けやすい要因となっています。

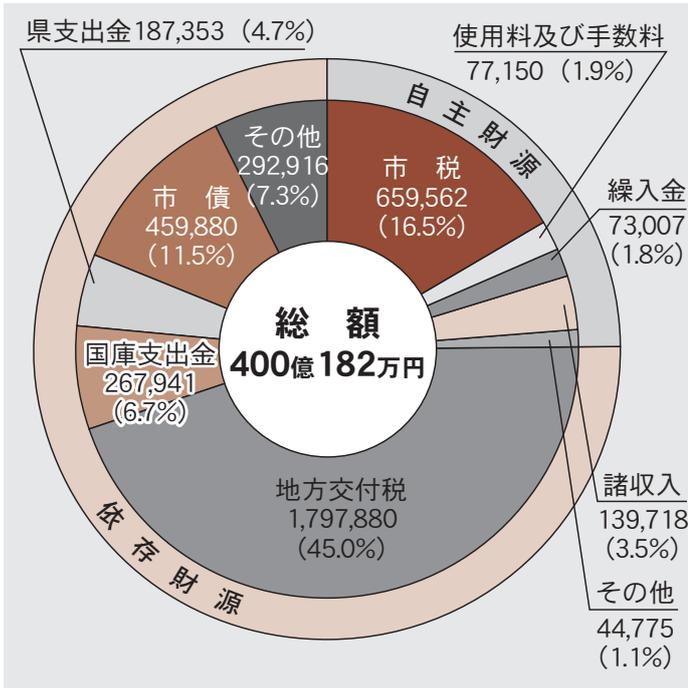
歳出は391億439万円で、性質別で見ると人件費や公債費などの義務的経費が49%を占めるなど、財政運営の

なっています【図1】。このほかの特別会計、企業会計の決算額は【表1】のとおりです。

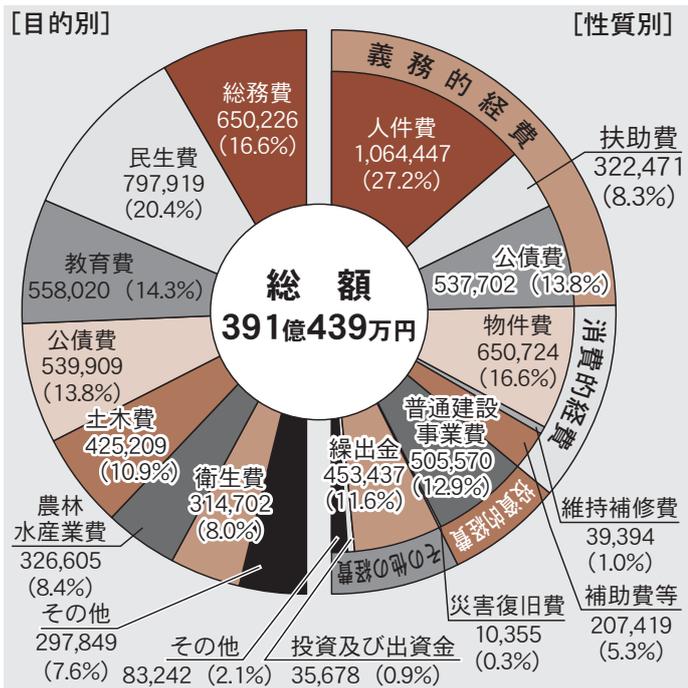
市の借金に当たる市債の年度末現在高は【表2】のとおりで、一般会計で約480億

■図1 一般会計歳入歳出の内訳 (単位：万円)

### 歳入



### 歳出



【問い合わせ】  
企画部財政課  
☎ 0220 (22) 2159

また、市の貯金に当たる基金などの状況は【表3】のとおりです。積立基金約80億円のうち、財源不足を補うための財政調整基金や減債基金は、一般会計で約43億8千万円となっており、財源不足を補うために取り崩したことから、前年度から2億3千万円減少しています。今後の安定した財政運営のため、慎重にその活用を進めていく必要があります。

市債は、建設事業などの実施により今後も増加が見込まれ、後年度の負担が増すことで財政運営が難しくなっていくと考えられます。

9千万円となり、平成17年度中に約9千3百万円増加しました。全会計を合わせると、約8億1千万円増の1,006億3千769万円となっています。

■表1 会計別決算状況

(万円未満切り捨て)

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計		400億182万円	391億439万円	8億9,743万円	
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	97億3,030万円	92億8,315万円	4億4,715万円	
	国民健康保険（直診勘定）	2億4,074万円	2億2,787万円	1,287万円	
	老人保健	104億2,449万円	103億2,755万円	9,694万円	
	介護保険（保険事業勘定）	54億9,947万円	53億8,081万円	1億1,866万円	
	介護保険（介護サービス事業勘定）	6,400万円	5,092万円	1,308万円	
	横山簡易水道事業	8,954万円	8,595万円	359万円	
	曲袋地区ほ場整備事業	1,985万円	1,957万円	28万円	
	土地取得	69万円	68万円	1万円	
	住宅用地造成事業	163万円	154万円	9万円	
	公共下水道事業	36億6,843万円	34億9,481万円	1億7,362万円	
	農業集落排水事業	12億9,777万円	12億4,989万円	4,788万円	
	浄化槽事業	1億6,007万円	1億5,254万円	753万円	
会計名		収入額	支出額	差引額	
企業会計	水道事業	収益的収支	24億4,067万円	21億5,326万円	2億8,741万円
		資本的収支	4億6,750万円	13億5,934万円	△8億9,184万円
	病院事業	収益的収支	100億2,766万円	106億1,771万円	△5億9,005万円
		資本的収支	3億580万円	4億8,245万円	△1億7,665万円
	老人保健施設事業	収益的収支	3億2,338万円	3億1,838万円	500万円
		資本的収支	-	3,068万円	△3,068万円

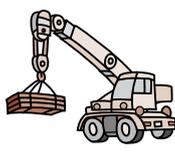
※資本的収入が支出に対して不足する額は、内部留保資金などで補てんしています

■表2 地方債（市債）の状況

会計名	市債残高	
一般会計	480億9,055万円	
特別会計	国民健康保険（直診勘定）	2,601万円
	介護保険（保険事業勘定）	1,301万円
	横山簡易水道事業	8億4,384万円
	曲袋地区ほ場整備事業	3,426万円
	公共下水道事業	243億4,520万円
	農業集落排水事業	87億4,790万円
	浄化槽事業	2億5,682万円
	企業会計	水道事業
病院事業	52億9,614万円	
老人保健施設事業	9億5,332万円	
総額	1,006億3,769万円	

■表3 基金、財産の状況

名称	金額等	
基金等	運用基金	19億3,785万円
	積立基金	80億7,556万円
	株券	1億8,972万円
	出資金	1億1,630万円
	出損金	2億406万円
	計	105億2,349万円
土地等	土地	66,904,878㎡
	建物	485,438㎡
	山林	59,078,070㎡

<b>市民一人 当たりの 決算額 432,446円</b> <small>平成18年3月末の 人口90,426人で 算出しています</small>	<b>議会費 3,100円</b> 	<b>総務費 71,907円</b> 	<b>民生費 88,240円</b> 	<b>衛生費 34,802円</b> 	<b>労働費 1,250円</b> 	<b>農林水産業費 36,118円</b> 
	<b>商工費 5,561円</b> 	<b>土木費 47,023円</b> 	<b>消防費 18,788円</b> 	<b>教育費 61,710円</b> 	<b>災害復旧費 1,125円</b> 	<b>公債費 59,707円</b> 

手当の種類	内容
扶養手当	○配偶者13,000円 ○配偶者以外 ①2人までそれぞれ6,000円。ただし、職員に配偶者がいない場合は扶養親族のうち1人につき11,000円。職員に扶養親族でない配偶者がいる場合は、扶養親族のうち1人につき6,500円を支給。 ②①以外1人につき5,000円。 ③満16歳年度初めから満22歳年度末までの扶養親族たる子については、1人につき5,000円を加算。
通勤手当	○交通機関 6カ月定期などの最も経済的な額 ○自動車など 使用距離に応じて2,000円～24,500円を支給
住居手当	○アパートなど 家賃などに応じて27,000円を限度として支給 ○新築住宅など 5年間2,500円を支給
管理職手当	○管理または監督の地位にある職員について、その職務の特殊性に基づき支給 給料月額×支給割合（7%～35%） ※ただし、平成18年4月1日～平成20年3月31日については20%減額
その他の手当	上記のほかに、労働基準法の規定に基づいて支給している時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当などがあります。

(5) 特別職等の報酬等の状況 (平成17年度)

区分	給料月額等	区分	給料月額等
給料	市長 980,000円	給料	議長 351,000円
	助役 790,000円		副議長 288,000円
	教育長 650,000円		議員 268,000円
期末手当	市長 6月期 2.1月分	期末手当	議長 6月期 1.6月分
	助役 12月期 2.3月分		副議長 12月期 1.7月分
	教育長 計 4.4月分		議員 計 3.3月分

※ただし、平成18年4月1日～平成20年3月31日については減額措置あり（市長10%、助役7%、教育長5%）

職員の勤務時間その他勤務条件の状況

(1) 職員の勤務時間

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
40時間	8:30	17:15	12:00～12:45

(2) 年次有給休暇の取得状況 (平成17年1月1日～平成17年12月31日)

総付与時間数 A	総使用時間数 B	対象職員数 C	平均取得時間数 B/C	取得率 B/A
316,061時間	141,555時間	1,988人	71時間/年	44.8%

(3) 時間外勤務及び休日勤務等の状況

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

時間外・休日勤務総時間数	職員一人当たりの時間外・休日勤務平均時間数
149,695時間	90時間/年

(4) 育児休業取得者の状況

区分	男性	女性
新たに育児休業を取得した者	0	33
前年度から引き続いている者	0	12

職員の分限及び懲戒処分の状況

(1) 分限処分の状況 (平成17年度)

区分	降任	免職	休職	合計
勤務実績が良くない場合	0	0	—	0
心身の故障の場合	0	0	5	5
職に必要な適格性を欠く場合	0	0	—	0
職制、定数の改廃、予算の減少により廃職または過員を生じた場合	0	0	—	0
刑事事件に関し起訴された場合	—	—	0	0
計	0	0	5	5

(2) 懲戒処分の状況 (平成17年度)

区分	免職	停職	減給	戒告	計	訓告等
法令に違反した場合	0	0	0	0	0	1
職務上の義務に違反し、または職務を怠った場合	0	0	0	0	0	0
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行があった場合	0	0	0	0	0	1

職員のサービスの状況

サービスの具体的内容
サービスの宣誓、法令等及び上司の職務上の命令に従う義務、信用失墜行為の禁止、秘密を守る義務、職務に専念する義務、政治的行為の禁止

(1) 営利企業従事許可の状況

許可を要する範囲	件数
営利を目的とする私企業を営むことを目的とする会社その他の団体の役職員を兼ねる場合	—
自ら営利企業を営む場合	—
報酬を得て何らかの事業または事務に従事する場合	8

職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1) 研修の状況

平成17年度における職員の研修は、「登米市人材育成方針」に基づき実施しています。

区分	内容	受講者数	備考
職場研修	4講座開催	586	CS接遇研修、メンタルヘルス研修、地方自治体運営ほか
職場外研修	宮城県市町村職員研修所	239	階層別研修、実務研修、ステップアップ研修、教養研修
派遣研修	宮城県市町村振興協会	1	海外派遣研修

(2) 勤務成績の評定の状況

平成17年度については未実施となっています。

職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 健康管理に関する状況

区分	対象者	受診者
定期健康診断	全職員（人間ドッグ受診者除く）	705
人間ドッグ	35歳以上の希望者	545
胃がん検診	35歳以上の希望者	125
子宮がん検診	30歳以上の希望者	158
乳がん検診	30歳以上の希望者	164

# 市職員の給与などのあらまし

— 登米市人事行政の運営等の公表 —

市職員の給与などの状況は、市議会での予算や給与条例の審議、人事院の給与勧告などを通じて明らかにされています。今回は職員給与の実態について、広く市民皆さんに理解していただくため、そのあらましを紹介します。

【問い合わせ】総務部人事課 ☎ 0220 (22) 2145

## 職員の任免及び職員数に関する状況

### (1) 職員の採用・退職の状況

区分	平成17年 4月1日現在	退職者数	採用者数	平成18年 4月1日現在
事務職	964	27	8	945
技術職	747	25	21	743
消防職	137	3	4	138
労務職	148	4	0	144
計	1,996	59	33	1,970

### (2) 役職別職員数 (平成18年4月1日現在)

部長職	14	次長職	29	課長職	230	課長補佐職	453
係長職	545	一般職	555	労務職	144	合計職	1,970

### (3) 年齢別職員構成の状況 (平成18年4月1日現在)

区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳
職員数	6	32	146	204	180
区分	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳
職員数	147	164	214	295	336
区分	56歳～59歳	60歳以上	計		
職員数	243	3	1,970		

### (4) 部門別職員数の状況 (平成18年4月1日現在)

部門	区分	職員数	
		H17	H18
一般行政部門	議会	8	8
	総務	267	262
	税務	40	42
	民生	224	216
	衛生	94	93
	労働	0	0
	農水	111	104
	商工	10	10
	土木	77	73
	小計	831	808
特別行政部門	教育	291	290
	消防	149	149
	小計	440	439
普通会計計		1,271	1,247
公営企業等会計部門	病院	600	598
	水道	50	49
	下水道	34	33
	その他	42	44
	小計	726	724
合計		1,997	1,971

※教育長を含む

## 職員の給与の状況

### (1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (平成17年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A
H17	90,633人	39,115,796千円	633,289円	10,651,165円	27.23%

参考  
平成16年度の人件費率  
23.08%

### (2) 職員給与費の状況 (普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費				一人当たりの給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
H17	1,246人	4,837,104千円	846,966千円	2,008,835千円	7,692,905千円	6,174千円

### (3) 職員の平均給料月額、平均給与月額、平均年齢の状況 (平成18年4月1日現在)

区分	一般行政職	消防職	医療職 (三)	労務職	企業職
平均給料月額	333,481円	314,501円	316,050円	281,595円	349,512円
平均給与月額	355,534円	339,787円	325,550円	297,794円	374,675円
平均年齢	43歳11月	42歳11月	45歳10月	47歳11月	47歳2月

### (4) 職員手当の状況

手当の種類	内容			
期末手当・勤勉手当	平成18年度支給割合			
		期末手当	勤勉手当	合計
	6月期	1.40月分	0.725月分	2.125月分
	12月期	1.60月分	0.725月分	2.325月分
	職務上の段階による加算措置……有			
退職手当	支給率	自己都合	勤奨・定年	
	勤続20年	21.00月分	27.30月分	【その他の加算措置】 定年前早期退職特別加算措置 (2%～20%)
	勤続25年	33.75月分	42.12月分	
	勤続35年	47.50月分	59.28月分	
最高限度額	59.28月分	59.28月分		

# 宮城の代表として活躍

## 第61回国民体育大会報告会

第61回国民体育大会「のじぎく兵庫大会（9月30日～10月10日）」に出場した市出身の選手・監督の栄誉をたたえるため、「国民体育大会出場選手・監督等報告会（市体育協会主催）」が11月15日、サンシャイン佐沼で催されました。ポート、バレーボール、陸上、軟式野球、ソフトテニス、柔道の6競技に出場した選手

や監督のほか、体育協会、スポーツ少年団、学校、市関係者ら約70人が参加。佐々木猛会長が「宮城県を代表して活躍してきたことに心から敬意と感謝を表します。皆さんは登米市スポーツ界の宝。今後

も練習や努力を重ね、さらなる活躍を期待します」とあいさつしました。その後、選手、監督一人一人に会長から記念品が手渡され、記念撮影や会食をしながら懇談しました。各競技の結果は、小野寺晃さんが陸上成年男子棒高跳びで第5位、佐藤英雄さんが軟式野球成年で第5位、阿部純也さんがバレーボール少年男子で第7位に入賞。市出身の選手・監督が大活躍した大会となりました。



国体に出場した選手一人一人に佐々木会長から記念品が手渡されました

第61回国民体育大会出場選手・監督（敬称略）

No.	氏名	種目	所属	出身地
1	關 尚	ポート（選手）	佐沼高3年	迫 町
2	千 葉 理佳子	ポート（選手）	佐沼高3年	南方町
3	武 田 阿佑美	ポート（選手）	佐沼高3年	南方町
4	星 遥	ポート（選手）	佐沼高3年	南方町
5	佐々木 美 穂	ポート（選手）	佐沼高2年	迫 町
6	佐 藤 恵	ポート（選手）	佐沼高1年	迫 町
7	只 野 麻 衣	ポート（選手）	仙台大3年	南方町
8	三 塚 芳 久	ポート（監督）	佐沼高	迫 町
9	斎 藤 貴 紀	ポート（監督）	女川高	石越町
10	遊 佐 公 美	ポート（監督）	築館高	迫 町
11	阿 部 純 也	バレーボール（選手）	東北高1年	津山町
12	小野寺 晃	陸 上（選手）	米山高	米山町
13	佐 藤 英 雄	軟式野球（選手）	登米市役所	東和町
14	中津川 澄 男	ソフトテニス（監督）	東北高	南方町
15	熊 谷 理 恵	柔 道（選手）	国士館大1年	中田町

※上記のほか、市外出身者で市内の高校に所属する選手も2人いました

## 各国自慢の料理で交流会

### 登米市国際まつり



民族楽器を使って演奏や歌などを披露する参加者

民俗芸能や自慢の郷土料理などで交流と親睦を深める、市国際まつり（市国際交流協会主催）が11月5日、迫公民館で行われ、市内の英語指導助手や国際交流協会員、市民ら約150人が参加しました。



各国自慢の郷土料理を食べながら会話を楽しみました

会場には、各国の郷土料理や特産物などの展示のほか、姉妹都市交流事業の写真・パネルコーナーが設けられ、専門員による在任外国人の無料相談会も行われました。

ステージでは、県内在住のラテンアメリカやトルコ、モンゴルなどの出身者がそれぞれの民俗楽器を使った演奏や歌、踊りなどを披露。市からは、米山の丸山太鼓が華麗なばちさばきを披露し、会場を沸かせました。

また、参加者が軽食を一品ずつ持ち寄って、食べながら会話を楽しむポットラックパーティーを開催。すしやはっと汁、チヂミなどの各国自慢の郷土料理を味わいながら交流を深めました。

# 環境保全活動を積極的に

## 上沼高・南方中で廃食油の回収作業



市内のホテルから廃食油を回収する南方中生徒

市が10月からスタートしたバイオディーゼル燃料（B D F）推進事業に協力しようと、市内各地で廃食油の回収が広がりをみせています。

上沼高では、10月28日に開催した文化祭で、廃食油回収



上沼高では文化祭で生徒たちが廃食油を回収しました

コーナーを校舎の出入り口前に設置。父兄や近隣の人たちが廃食油入りのペットボトルを持ち参し、生徒たちが回収に当たりました。集まった廃食油はポリ容器2個分約40リットルは、今後廃食油の回収を続ける予定です。

10月31日には、職場体験の一環で南方中生徒3人が市環境課を訪れ、廃食油の回収・製造作業を体験しました。

生徒たちは「はんとく苑」の活動に同行し、市内のホテルや飲食店などから廃食油を回収。中田町にある作業所に持ち帰り、油をこして天カスを取る作業を行いました。

大宮拓実君（2年）は「仕事の大変さを学べて良かったです」と話していました。

# 健康のありがたさを実感

## 市民活き生き健康フェスティバル

第1回市民活き生き健康フェスティバルが11月18日、登米総合体育館「とよま蔵ジ・アム」で行われました。

「いのちを育む「食とこころ」」をテーマとして、健全な食生活で豊かな人間性を育てることを目的に登米市となつて初めての開催。高齢者や親子連れら約1,500人が訪れました。

会場となった体育館には、食育、健康、福祉、介護、市民、環境、交流・体験の分野

ごとに、さまざまなコーナーを設置。歯みがきポランテアによる正しい歯のみがき方や、市内福祉作業所利用者が作成した手芸・民芸品などの販売、廃食油を利用した車の試乗会、自動体外式除細動器（AED）の操作体験などが行われました。

また、ステージでは、食育、子育て、環境、防災団体の代表者が実践活動を発表。「一人ひとりのキラめきから元気あふれる「健康登米市」と

題した講演会や、劇団「ぜん」とようようくらぶ」の歌と踊り、いきいき体操なども行われました。

そのほか、屋外では大勢の人たちが参加して、はつと汁の「はつとつみ」を体験。自分たちでつんだ温かいはつと汁を試食しました。

一つの会場で健康に関するさまざまな体験や学習ができたとあって、会場に訪れた人々には、大変有意義な一日となりました。



家族連れなど多くの人が体験した「はつとつみコーナー」(上) 飲酒体験用の眼鏡をかけて障害物に当たらないで歩くことに挑戦する参加者 (中) 会場を沸かせた講演会と「ぜんとようようくらぶ」の歌と踊り (下)

# 地産地消推進店が 認定されました

8月31日からスタートした登米市地産地消推進店認定制度。10月16日までに23店から申請があり、地産地消推進協議会、地産地消推進本部の会議でそれぞれ審査が行われ、22店が認定されました。

認定を受けた推進店は、市内産農産物を積極的に使用、または市内産農産物を使用した加工品を、今後も増やして

いこうとする意欲が感じられる市内の販売店や飲食店。認定された推進店には、認定証やステッカー、のぼり旗などが交付され、市とともに地元農産物の消費拡大を進めていきます。

地産地消は、市民皆さんへの新鮮で安全・安心な農産物の提供や市内流通の確立、農家の所得の向上を目指した取り組みです。

推進店の申請は、随時受け付けていますので、産業経済部農産園芸課（中田庁舎2階）にある所定の申請書に、必要事項を記入の上、直接または郵送で同課へ申請してください。



地産地消推進店に認定された販売店には地産地消推進本部長（布施市長）から認定証が手渡されました（11/18地産地消推進のつどい）

※申請書は市のホームページからもダウンロードできます。  
<http://www.city.tome.niagijp/>  
**【問い合わせ】**  
 産業経済部農産園芸課  
 ☎ 0220 (34) 2713

## 登米市の地産地消推進店（平成18年10月末現在）

No.	推進店名	住所	主な取り扱い商品
1	株式会社 縄商店	豊里町新田町187-9	豚肉
2	フードショップ及川マーケット	中田町石森字室木11-9	野菜、果物
3	ふる里センターY・Y	米山町西野字新遠田67	【店頭販売】野菜、果物、花、加工品【飲食】おにぎり、Lポーク焼肉ランチ、ソフトクリーム、アイスクリームなど
4	味処 小竹	迫町佐沼字中江3-1-5	各種釜めし定食、ジャンボとんかつ定食、レディース御膳、ヨジテレビ定食、各種弁当など
5	菜の花村	中田町石森字野元188-1	農産物
6	スナック ティアラ	迫町佐沼字中江4-8-8	漬物、シイタケ、トマト、ニラ
7	有限会社 大学食品	中田町上沼字冠木136	みそ漬、豆腐
8	有限会社お食事処ポスト	中田町上沼字弥勒寺中下167-1	とんかつ定食、各種定食、めん類、サラダ、果物など
9	株式会社 割烹くまがい	中田町宝江黒沼字大海崎103-1	会食料理、弁当、オードブル、仕出しなど
10	ロッキー カフェ	迫町佐沼字中江4-9-4	シイタケステーキ、豚肉とキャベツのみそ炒め、ラーメン、レバニラ炒め、チャーハン
11	イオン株式会社ジャスコ南方店	南方町鴻ノ木35-1	米、野菜、果物、花など
12	産直なかだ愛菜館	中田町石森字本町95-1	米、野菜、果物、花、加工品
13	産直がんばる館	豊里町上屋浦16	米、野菜、果物、花、加工品
14	道の駅津山「産直ときめき野菜」	津山町横山字細屋26-1	米、野菜、果物、花、加工品
15	伊豆沼農産農家直売所	迫町新田字前沼149-7	米、野菜、果物、花、加工品
16	レストラン「くんべる」	迫町新田字前沼149-7	自家製ハムとソーセージのグリルセット、伊達の純粋赤豚しゃぶしゃぶ鍋膳、赤豚カレー、はっとなど
17	とよま観光物産センター「遠山之里」	登米町寺池桜小路2-1	米、野菜、果物、花、加工品
18	道の駅みなみかた「もっこりの里」	南方町新高石浦150-1	【店頭販売】米、野菜、果物、花、加工品【飲食】地元仙台牛のこだわり牛丼など
19	リトルステップ豊里店	豊里町佐野1-1	季節野菜とキノコのカレー・和風パスタ、オムライス、カルボナーラ、サラダ
20	迫町ふるさと物産館	迫町北方字天形161-84	【店頭販売】米、野菜、果物、花、加工品【飲食】食材の日限定季節の旬の食材を使用した定食など
21	道の駅東和「森の茶屋」	東和町米川字飯土井20-1	【店頭販売】米、野菜、果物、花、加工品【飲食】ラーメン、定食類など
22	船橋や	迫町佐沼字小金丁6	定食、そば、漬物など

# 農業所得簡易計算（農業所得標準）で 所得申告をしている皆さんへ

## 平成19年分（平成20年2月）の所得申告から 農業所得簡易計算が廃止されます。

### 「農業所得簡易計算の廃止について」

平成19年分（平成20年2月）の所得申告から「農業所得簡易計算」が廃止されます。

これに伴い、家事消費などの計算の目安となる「保有米の60kg当たりの単価」と「自家用畑の10㎡当たりの収入金額」も廃止されます。

農業所得の計算は、ほかの事業所得（営業、不動産など）と同様に、収入金額から必要経費を差し引いて所得金額を算定する収支計算が原則です。

これまで、小規模農家のうち、収支計算が困難な人については、申告の目安として「農業所得簡易計算」を適用し所得申告を行っていただいていたましたが、平成19年分の所得申告から収支計算により農業所得を計算することになります。

収支計算を行うためには、平成19年1月から収入金額と必要経費の分かる書類（出荷伝票、納品書、請求書、領収書など）を整理し、常に記録（帳簿）することが必要となります。また、科目ごとに1年間の集計を行うこととなりますので、これらの書類の保存も必要となります。

こまめに書類整理と記帳を行い、平成19年分の所得申告からスムーズに収支計算ができるよう心掛けましょう。

### 収支計算とは？

$$\text{【収入金額】} - \text{【必要経費】} = \text{【所得金額】}$$

## 農業収支計算説明会のお知らせ

下記の日程で農業収支計算説明会を行います。参加して収支計算を理解しましょう。

開催日時	会場
12月12日（火）午前10時～	豊里多目的研修センター
12月12日（火）午後2時～	東和総合支所3階「大会議室」
12月13日（水）午前10時～	津山老人福祉センター2階「集会室」
12月13日（水）午後2時～	南方総合支所2階「大会議室」
12月14日（木）午前10時～	石越総合支所2階「多目的ホール」
12月14日（木）午後7時～	市役所迫庁舎2階「大会議室」



※どの会場でも説明を受けることができます。都合の良い会場、時間に合わせてご来場ください。

### 【問い合わせ】

総務部税務課市民税係 ☎ 0220 (22) 2163



# 1/7<sup>(日)</sup>

市では、20歳を迎えた皆さんの門出を祝い、今後の活躍を祈念して成人式を開催します。今年度から市全体での開催となり、市内新成人が一堂に会します。

**【日時】**

平成19年1月7日（日）午後1時開式〔受付〕 午前11時30分～12時30分

**【会場】**

登米総合体育館（とよま蔵ジアム）  
〔登米市登米町寺池目子待井10番地 ☎ 0220（53）1155〕

**【対象者】**

- 平成14年3月に市内の中学校を卒業した人
  - 平成18年9月1日現在で登米市に住民登録がある、昭和61年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた人
- ※新成人の皆さんには案内状を送ります。当日は同封の入場券を持参してください。

**【お知らせ】**

- 駐車場に限りがありますので、乗り合わせや市民バスでの来場にご協力ください。

行き	循環線（浅水経由登米） 4便	迫庁舎10:36－中田庁舎10:53 －登米庁舎11:25
	津山線（上り） 6便	登米庁舎14:28－迫庁舎14:54
帰り	循環線（米岡経由佐沼） 7便	登米庁舎15:27－米山総合支所15:49 －南方庁舎16:19－迫庁舎16:32
	循環線（浅水経由佐沼） 7便	登米庁舎15:38－中田庁舎16:11 －迫庁舎16:28

- 会場は上履き着用です。写真撮影もありますので草履などの上履きを持参願います。また、観覧する家族などの皆さんも上履きを持参願います。

**【問い合わせ】**

教育委員会生涯学習課 ☎ 0220（34）2698

平成  
19年

# 登米市成人式

今年度から市全体での開催となります

# 秋の叙勲受章者

## 永年の努力と 功績が認められ

2006年秋の叙勲で、市内から佐藤秀一さん（津山町横山10区）、鈴木伸一郎さん（迫町平柳）、吉野禎祐さん（東和町錦織第1区）、瀬戸数衛さん（迫町坂戸）が瑞宝単光章を受章しました。

**瑞宝単光章**  
佐藤 秀一さん（津山町・72歳）



昭和33年、旧津山町消防団に入団、以来41年間の消防歴。昭和61年に津山町消防団分団長、平成3年に副団長として、火災予防思想の普及・啓蒙と地域防災活動に尽力。平成5年3月には、消防庁長官から永年勤続功労章を受章。

**瑞宝単光章**  
吉野 禎祐さん（東和町・76歳）



昭和33年、旧東和町消防団入団、以来36年間の消防歴。平成元年に東和町消防団分団長、平成5年から副団長として火災予防思想の普及・啓蒙と地域防災活動に尽力。平成3年3月には消防庁長官から永年勤続功労章を受章。

**瑞宝単光章**  
鈴木伸一郎さん（迫町・74歳）



昭和32年、旧迫町消防団に入団、以来47年間の消防歴。昭和61年に迫町消防団分団長、平成8年に副団長、平成14年から団長として火災予防思想の普及・啓蒙と地域防災活動に尽力。平成9年3月には消防庁長官から永年勤続功労章を受章。

**瑞宝単光章**  
瀬戸 数衛さん（迫町・72歳）



昭和30年、旧迫町消防団に入団、12年間団員として活躍した後、昭和42年からは常備部班長を務めた。昭和47年、登米地区消防事務組合消防吏員を拝命。以来14年間にわたり、火災予防思想の普及・啓蒙と地域防災活動に尽力。

## スポーツ&各種入賞情報

(敬称略)

### 第45回全国防具付空 手道選手権大会

■開催日 10月1日(日)  
■会場 東京武道館

- 【小学生3・4年の部】
- （少年男子）
- 第1位 高橋悠太（南方）
- 第3位 菅原玲威（津山）
- 【小学生5・6年の部】
- （少年女子）
- 第2位 佐瀬 楓（南方）
- 【一般男子の部】
- 第3位 石川博基（迫）

### 全東北・北海道防具 付空手道選手権大会

■開催日 10月15日(日)  
■会場 岩手県遠野市 市民センター

- 【形の部】
- （小学生低学年男子）
- 第1位 佐々木綺斗（中田）
- （小学生中学年男子）
- 第2位 鈴木崇司（中田）
- （小学生高学年女子）
- 第2位 佐瀬 楓（南方）
- 【組手の部】
- （小学生低学年男子）
- 第1位 佐々木綺斗（中田）
- 第3位 藤野耀友（中田）
- （小学生中学年男子）
- 第2位 織田和真（中田）
- 第3位 鈴木崇司（中田）
- （小学生高学年男子）
- 高橋悠太（南方）
- （中学生女子）
- 織田拓考（中田）
- （中学生女子）
- 赤坂梨奈（迫）
- ※最優秀選手賞 佐々木綺斗（中田）

### 第11回全日本阿武隈 ウオーター大会カヌー レーシングジュニア 選手権

■開催日 10月28日(土) 29日(日)  
■会場 福島県二本松市 阿武隈漕艇場

- 【500m】
- （女子カヤックペア）
- 第1位 二階堂真美・小野冨子組
- （女子カヤックフオア）
- 第2位 二階堂真美・小野冨子・千葉西・高橋優
- （男子カヤックフオア）
- 第3位 高橋佑輔・佐藤佳祐・神原翼・千葉孝太組
- 【1000m】
- （女子カヤックフオア）
- 第2位 二階堂真美・小野冨子・千葉西・高橋優
- （女子カヤックペア）
- 第3位 二階堂真美・小野冨子組
- （男子カヤックフオア）
- 第3位 高橋佑輔・佐藤佳祐・神原翼・千葉孝太組
- ※以上中田中力ヌー部

### 平成18年度みやぎ花の あるまちコンクール

- 【学校の部】
- 最優秀賞 新田第二小学校
- 【地域・職場の部】
- 優秀賞 本田区（迫）
- 【家庭の部】
- 優秀賞 星ひさ子（迫）

## 東和で「東和の秋まつり」 おいしく楽しく大にぎわい

東和の秋まつり（同実行委員会主催）が11月3日、東和総合支所西側特設会場で開催されました。ステージでは、町内の小中学校児童生徒や各種団員らが歌や踊り、太鼓演奏などを披露。軽食バザーや農林産物・東和中学校起業販売コーナーなども多数設けられ、大勢の来場者でにぎわいました。また、スギの丸太をノコギリで切り落とし、そのタイムを競う「丸太切り選手権」も実施。子どもと大人の各3チームが、リレー方式で丸太の切り落としに挑戦し、見物客から大きな声援が飛び交いました。



▲力を振り絞ってスギの丸太切り挑戦する子どもたち



▲飲酒運転を無くすことを願って作られた「飲酒運転撲滅くんかかし」

## 迫で豊年かかし祭り かかしで商店街を活性化

豊年かかし祭りが10月29日、佐沼大通り商店街で開催され、市内の各事業所や子ども会、学校、社会福祉施設などから100体を超える「かかし」が出品されました。このイベントは、実りの秋を迎え「かかし」によるまちおこしと、商店街の活性化を目的としたもの。商店街協同組合が作詞した「登米市豊年かかし祭り音頭」の発表会や、マグロ解体ショー、地場産品などの出店も並び、大勢の見物客でにぎわいました。訪れた人は「創意工夫を凝らしたかかしが多く、見ているだけで楽しかった」と話していました。

## 津山でもくもくランド秋まつり 秋の味・見どころが満載

もくもくランド秋まつり（同実行委員会主催）が10月29日、道の駅津山「もくもくランド」で開催されました。もちつき大会やはっと汁の試食には、長蛇の列ができるほどの好評ぶりで、訪れた人たちは津山自慢の秋の味覚を満喫しました。また、文化祭芸能発表会では、火伏せの獅子舞や和太鼓演奏、舞踊などが披露され、会場は大きな歓声と拍手に包まれました。夜には花火大会（みやぎ北上商工会津山支部主催）も実施され、澄み切った夜空に打ち上げられた約1000発の花火が大輪の花を咲かせました。



▲芸能発表会で披露された横山火伏せの獅子舞



▲地域住民の力で5年間の交通死亡事故ゼロを達成した登米地区

## 初 米山で「ふるさとよねやま秋まつり」 初めては趣向を凝らして

米山町では初となる「ふるさとよねやま秋まつり（同実行委員会主催）」が10月28、29日の両日、米山総合支所を主会場に開催されました。郷土文化・芸術品などを披露する文化祭や、地元の商工会加盟団体が出店する商工祭、さらには、旧米山町の町花である菊を展示する菊花展、新鮮な農産物の販売などを実施。企画運営は、地域住民、ジュニアリーダー、米山高生徒らのボランティアの手によるもので、趣向を凝らしたさまざまなイベントに、大勢の来場者が楽しんだ2日間となりました。



▲町内小中学校の児童生徒らの作品を感心して見物する来場者

## 地 登米で交通死亡事故ゼロ達成記念式 地域住民の力で5年間ゼロ

「登米地区5年間！交通死亡事故ゼロ達成記念式」が11月13日、登米公民館で開催され、交通安全団体、町内小中高生ら約150人が参加しました。登米地区では、平成13年11月から交通死亡事故の発生がなく、今年の11月をもって5年間に達成。宮城県警から地区内の交通安全7団体に、交通事故抑止功勞の感謝状が贈呈されました。また、参加者全員で「もっともっととめっぺ交通事故」をモットーに、総力を挙げて交通安全を推進します」と声高らかに宣言を行い、さらなる交通死亡事故の防止を誓いました。



▲さまざまなイベントに家族連れが多く訪れたよねやま秋まつり

## 自 南方で「みなみかた秋まつり」 自慢の作品が勢ぞろい

各種イベントを通じて地域の活性化を目的に、「みなみかた秋まつり（市教育委員会南方事務所主催）」が11月4、5日の両日、南方公民館を主会場に開催されました。絵画や写真の「展示の部」、南方文化協会による芸能発表会の「演芸の部」のほか、リサイクルチャリティーバザー、商工祭りなどを実施。家族連れなどが大勢詰め掛けました。訪れた人は「芸能発表会の踊りを見て心が和みました。子どもたちが作った皿や絵画などの作品も、上手に出来上がっていて感心しました」と話していました。

## 中田で「なかだの秋まつり」 団結で巨大カップ巻きが完成

「第20回なかだの秋まつり」が11月4、5日の両日、市役所中田庁舎を主会場に開催されました。2日間とも天候に恵まれ、農業祭・文化祭・菊花盆栽展などに市内外から約13,500人が訪れました。「101 $\bar{m}$ （実測直線101.7m）のみんなでカップ巻き・長さに挑戦！」には、200人以上の親子連れらが参加。参加者全員が団結して巨大カップ巻きを見事完成させ、おいしく食べました。また、乗馬体験や野外ステージ、出店テントなどのイベントコーナーも多数設けられ、大勢の来場者でにぎわった2日間となりました。



▲長さ101 $\bar{m}$ のカップ巻きを参加者全員が団結して完成させました



▲子犬やウサギなどの動物とふれあった園児たち

## 豊里で動物ふれあい教室 ふれあいで命の尊さを学ぶ

動物ふれあい教室（県登米保健所、県動物愛護センター、市主催）が11月7日、豊里幼稚園で行われ、園児ら110人が参加しました。動物とのふれあいを通じ、接し方、命の尊さ、愛護心などを学んでもらおうと開催。園児たちはウサギなどの正しい接し方の説明を聞いた後、子犬やウサギなどをさわったり、抱いたりして動物の温かさや柔らかさを感じました。園児たちは「子犬のしっぽをさわったら顔をたくさんめられた」、「ウサギの耳がとても大きいのにびっくりした」などと喜んで話していました。

## 石越で「まるごといしこしまつり」 2 $\bar{m}$ の大鍋に千人芋煮汁

「まるごといしこしまつり（同実行委員会主催）」が11月5日、チャチャワールドいしこしで開催されました。園内の乗り物や遊具で遊びながら、祭りも楽しめるとあって、市内外から約3,200人が来場。石越牛の試食販売コーナーや、リサイクルチャリティーバザー、バンド、和太鼓などのステージ演奏など、さまざまなイベントが催されました。また、祭りの目玉の直径2 $\bar{m}$ の大鍋を使った「千人芋煮鍋」は、長蛇の列ができるほどの盛況ぶりで、用意された千人分の芋煮汁は、瞬く間に完食となりました。



▲直径2 $\bar{m}$ の大鍋で作った芋煮汁は瞬く間に完食となりました

10/26

**方言を交えた寸劇などで防火を誓う**

シルバー火災予防フェスティバルが10月26日、登米祝祭劇場で開催され、65歳以上の市民約900人が参加しました。消防署員による寸劇で、最近多発している住宅用火災警報器の悪質訪問販売の注意を呼び掛け。方言を交えたユーモラスな寸劇に、会場は笑い拍手が絶えませんでした。そのほか、参加者全員で火災予防宣言を行い防火を誓いました。



▲消防署員が寸劇を披露した火災予防フェスティバル

11/2

**市民の目線での市政運営を目指し**

市民の声を市政に取り入れ、市民との協働によるまちづくりを目指し設置された市政モニター。その第2回会議が11月2日、市役所迫庁舎で開催され、委員17人が出席しました。市政運営のあり方、広報紙の構成・記事内容などについてを意見交換。そのほか、総合支所の役割や子育て支援、小児医療体制など、活発な意見が交わされました。



▲委員から活発な意見が交わされた市政モニター会議

11/12

**平筒沼の自然や生態系を親子で学ぶ**

親子ネイチャースクール（平筒沼自然観察会）が11月12日、米山町の平筒沼で行われ、市内の親子10組が参加しました。午前には沼の自然林・野鳥観察を体験。沼に生息するカモやアヒルの生態形などを学びました。午後からは、クラフトワークとしてアヒルの鳴き声が出る竹笛作りに挑戦し、子どもたちは出来栄に満足して音を鳴らしていました。



▲沼の自然林や野鳥観察などを体験しました

11/18

**登米市の食と農の豊かさを再発見**

地産地消推進のつどいが11月18日、ホテルサンシャイン佐沼で開催されました。市内の生産者や流通関係者、一般住民ら約230人が参加。食に関する講演会や事例発表が行われました。試食会では、牛にぎりすしやステーキなどの市内産牛を中心とした創作料理、米紛ビスケットなどの加工食品が振る舞われ、参加者は登米市の味を満喫しました。



▲市内産食材を使った創作料理を試食する参加者



# 市民の広場

ぼくとわたしの夢 No.20

## 家業を継いで油ふも全国に



山形 尚大君 (柳津小5年)  
(津山町元町第一区・英之さん方)

4人兄弟で双子の妹がいる尚大君。家は油ふの老舗「山形屋商店」を経営しており、おじいさんが社長、お父さんが専務をしています。尚大君は、夏休みや冬休みの長期の休みを利用して、油ふを詰め込む箱の組み立てなどの手伝いをしています。また、5年生からスポ少の野球部に入部。始めたばかり

なので、試合での出場機会はあまりありませんが、レギュラーになれるよう、一生懸命練習をする頑張り屋さんです。そんな尚大君の将来の夢は、「家業を継ぐこと。油ふを同じ大きさに切るのが難しそうですが、おじいさんやお父さんのやり方をまねして、僕らの油ふを全国に広めたい」。力強く話してくれました。

市民の広場のコーナーでは、掲載を希望する人や情報を募集しています。広報係まで情報をお寄せください。

### ■総務部総務課広報係

〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1  
☎0220(22)2090 FAX0220(22)9164  
Eメール koho@city.tomeriyagi.jp

## 文芸

### 短歌

### 作品募集!

●1月号は俳句・川柳です。住所、氏名、電話番号を記入し、12月8日までご応募ください。  
●応募者多数の場合は抽選で掲載します。

ふた昔精こめ作りし人形の  
色あせ衣装再開に涙

千葉 チズ (米山)

夕映えの空にひとすじ飛行雲  
広がりにつつ流れて消ゆる

阿部 洋子 (津山)

ひと言をいひそびれ来て畳みたる  
傘よりたれる雫みつめる

高橋 良 (登米)

秋風と共に色付く実のり田に  
老の身隠し稗の穂を抜く

加藤 あや子 (中田)

慌ただしく出勤の人ら出でし居間  
出番とばかりコーロギの声

本宮 やつ (中田)

石ばしる山峡の水に乗り乍ら  
山萩の花の流れに見入る

佐々木 とみゑ (中田)

逝きませし義姉の遺影に香揺らぎ  
合掌の手震いは止まず

千葉 みゑ子 (中田)

実家の母三十三回忌の法要に  
慎しみ拝み正座し偲ぶ

千葉 たかお (米山)

朝ごとの畑の収穫の茄子などを  
愛でるもひとり食むのもひとり

千葉 みゆき (米山)

記帳せし金刀毘羅山のきさはし昇り  
黄金色のお守りもとむ

主藤 恵子 (米山)

千葉 七瀬ちゃん (石越町第三区)  
平成15年11月17日生まれ (3歳)  
猛志さんの長女



七瀬ちゃんは団子が大好き。買物に行くと売り場を探して必ず手に取ります。白とピンクのうさぎのぬいぐるみがお気に入り、毎日一緒に寝ています。食欲旺盛、運動神経抜群の七瀬ちゃんです。

菅原 央雅くん (東和町米川第7区)  
平成16年5月5日生まれ (2歳)  
康弘さんの長男



9月にお兄ちゃんになった央雅くん。朝からごはんを食わずに絵本を見るほどボウケンジャーが大好き。特技はおじいちゃんとおばあちゃんもやっているお神楽を踊ることだそうです。

新刊紹介 = 迫図書館 = ☎0220 (22) 9820

■大人向け



「セタしぐれ」  
熊谷達也/著

本当の友情ってなんだろう？熊谷達也が差別問題に取り組んだ新刊。



「闇の底」  
薬丸岳/著

運命が導いた哀しい完全犯罪。狂気の劇場型犯罪を描く。



「きもの装い決定版」

いろいろなシーンに応じたきもの装いが、分かりやすく書かれています。

■子ども向け



「いっぼくのごめんね」  
とよかずひこ/著

いっぼくのマいにちは「はじめて」「たのしい」がいっぱいです。



「二人 トルストイの散歩道」  
レフ・トルストイ/著

二人の老人が聖地エルサレムを訪ねます。無事に詣でられたか？



「あたしち⑫」  
けらえいこ/著

誰もが共感できるタチバナ家の日常。新刊刊行。

※たくさん新刊が入りました。詳しくは市ホームページをご覧ください。

わげすたづ わげすたづ わげすたづ わげすたづ

まちの若い衆

No.20



只野 幸恵さん (19歳)

ただの ゆきえ  
南方町柳沢・しし座

体を張った重労働でも苦しめず  
気持ちを込めて高齢者のお世話

▼身長と血液型 154センチ  
▼現在 (株)コムスン築館ヶアセンタールームヘルパーをしています。重労働ですが、お年寄りと接することが好きなので、気持ちを込めてお世話をしています。

▼自分の性格 物忘れをするおつちよこちよいですが、明るい性格です。  
▼休日は 休みが合う同僚とドライブによく出掛けます。家の掃除や食事の準備などもしています。  
▼趣味は 小学校のときから続けている大好きな卓球。市の卓球協会に所属し、毎週2回の練習や各種大会に出場しています。

▼理想の男性像 夢を追いかけている人。プロボクサーの亀田興毅選手がタイプです。  
▼結婚は 20歳前半でしたい子どもは3人ほしいです。  
▼今やってみようこと 中学高校とジュニアリーダーをやっていた影響か、大勢の間で集まって山や河原で芋煮会を楽しみたいです。

わが家のアイドル



たくま 柴崎 拓真くん  
(南方町南大畑)  
平成17年4月15日生まれ  
(1歳)  
雅伸さんの長男

プリンが好物で1日1個は食べる拓真くん。おもちゃの乗り物のハンドルを握って「ブーンブーン」と、運転ごっこをすることが大好き。拓真くんはいつも愛犬のコウタと仲良く遊んでいます。



な お 大田 菜央ちゃん  
(迫町一市)  
平成16年8月16日生まれ  
(2歳)  
信幸さんの三女

菜央ちゃんは4人兄弟の末っ子。お姉ちゃんたちからとてもかわいがられています。納豆やコンブなどのネバネバ系が大好きで、ご飯にかけてたくさん食べます。ダンスがとても上手です。

# 健康 & 福祉

## 12月の保健カレンダー

※時間は受付時間

迫 迫保健センター ☎0220 (22) 5554			登米 登米総合支所市民福祉課 ☎0220 (52) 5054			東和 東和総合支所市民福祉課 ☎0220 (53) 4112		
4(月)	離乳食・栄養相談日 子育て開放日	9:30~12:00	11(月)	健康(栄養)相談	8:30~11:30	6(水)	離乳食教室(6~8カ月児)	10:00~10:15
			13(水)	わいわい広場	10:00~11:30	11(月)	なんでも健康相談	9:00~11:00
7(木)	離乳食教室(7カ月児)	8:30~9:30	15(金)	こころの相談(要予約)	13:30~14:30	21(木)	こころの相談(要予約)	13:30~15:30
14(木)	2歳児歯科健診	8:30~13:00						
中田 中田総合支所市民福祉課 ☎0220 (34) 2311			豊里 豊里総合支所市民福祉課 ☎0225 (76) 4113			米山 米山総合支所市民福祉課 ☎0220 (55) 2112		
11/28 7(木)	乳がん検診	個別に通知します		何でも健康相談	9:30~11:30	4(月)	健康相談	9:00~11:00
13(水)	1歳6カ月児健診(H17年5月生まれ)	12:30~12:45	1(金)	楽らく講座	9:20~9:30	14(木)	こころの相談(要予約)	9:30~15:00
19(火)	こころの相談(要予約)	13:30~15:30		こころの相談(要予約)	13:15~17:00	19(火)	離乳食教室(6~7カ月児)	9:30~9:45
22(金)	離乳食相談(H18年5月・6月生まれ)	13:00~13:10	20(水)	楽らく講座	9:20~9:30			
石越 石越総合支所市民福祉課 ☎0228 (34) 2112			南方 南方総合支所市民福祉課 ☎0220 (58) 2113			津山 津山総合支所市民福祉課 ☎0225 (61) 5011		
1(金)	元気いしこし講座④	9:30~10:00	7(木)	こころの相談(家族福祉)	要予約	8(金)	まめっこ広場(講演会)	9:30~10:00
12(火)	離乳食相談(6~7カ月児)	9:30~9:45	11(月)	健康相談(場所:南方総合支所)	9:00~16:00	15(金)	まめっこ広場	9:30~10:00
14(木)	こころの相談(要予約)	10:00~15:30		こころの相談(医師)	要予約	18(月)	健康相談(フィットネスルーム)	9:30~16:00
21(木)	2歳児歯科健診	9:30~9:45	14(木)	第3回南方もっこり 元気講座	13:00~13:30	19(火)	こころの相談(要予約)	9:30~11:30
	元気いしこし講座⑤	13:00~13:30				20(水)	離乳食教室(6~7カ月児)	9:30~9:45

不明な点は、各総合支所市民福祉課健康づくり係までお問い合わせください

福祉情報

## 障害者の皆さん 困ったときは相談してください



市では、10月から障害者の皆さんやその保護者または介護をしている人などを対象に、相談支援事業を開始しました。皆さんの相談に応じ、必要な情報の提供や障害福祉サービス利用のお手伝いなどを行います。

これまでの市や福祉事務所に加えて、次の専門相談事業所に委託して実施するもので、相談窓口が増え、相談しやすい環境を整えました。

「困ったとき」「話を聞いてもらいたいとき」、どうぞ気軽に相談してください。自分が望む生活ができるように必要な社会資源と利用できるサービスや制度を一緒に考えながら、障害者の皆さんが社会に参加していくお手伝いをしていきます。

病気や障害があるからとあきらめないで、相談員と一緒に考えながら未来を切り開いていくために、ぜひ利用してください。

### 【指定相談支援事業者】

委託法人名	社会福祉法人 恵泉会	医療法人財団 姉齒松風会
相談窓口名称	地域生活支援センター	地域生活支援センターポレポレ
所在地	迫町佐沼字中江1-10-4 中江第一ビル1階	石越町南郷字小谷地1-1
電話番号	0220 (21) 1011(代)	0228 (35) 5055(代)
ファクシミリ	0220 (21) 1022	0228 (35) 5066
担当障害種別	知的障害を主に 精神・身体障害	精神障害を主に 知的・身体障害
窓口開設時間	月~金 8:30~19:00 日 8:30~17:15	月~土 9:00~19:00 日・祝 9:00~17:00
夜間・休日対応	担当者の携帯電話に転送	当直職員が対応
その他	各総合支所・福祉作業所・小規模作業所で巡回相談	

### 【相談支援の内容】

- ①福祉サービスの利用援助(情報提供、相談など)
- ②社会資源を活用するための支援(各種支援施策の助言・指導など)
- ③社会生活力を高めるための支援
- ④障害者など当事者同士の話し合い、相談など
- ⑤権利を守るために必要な援助
- ⑥専門機関の紹介など

### 【相談方法】

直接の来所と電話で相談できます。

【問い合わせ】 福祉事務所社会福祉課 障害福祉係  
☎ 0220 (58) 5551 FAX 0220 (58) 2375



# こちら地域医療連携室



## 医師が少ないということ (その1)

医師がどうやって就職するのかご存知ですか。就職活動をしている医師の姿はあまり見ませんね。医師の卵は大学医学部を卒業し国家試験を受け、合格して初めて医師になります。今回はその先のことについてお話ししましょう。一応すべての科について勉強するので「何科か」ということは国家試験までありません。

国家試験に合格してから新米医師は大学の医局という各科の専門部署に入り、研修や研究(大学院生として)



外来で診察をする千葉医師

をするか、市中の病院で研修をした後で専門が決まります。この市中の病院は、自分が大学に戻ったときに所属する医局指定の病院であることが多いです。研修中は自分の大先輩になる先生に医師の心構えや、仕事は厳しくて当たり前という価値観を叩き込まれます。それこそ不眠不休で仕事をするほどですが、そこに自分が飛び込んだ世界のやりがいを感じてきましたし、患者さんからの感

謝の言葉で疲労が吹っ飛んだりしていました。

その後、多くの医師は大学から今度は地域医療の担い手として地方の病院に行くこととなります。自治医大卒の医師は研修後、県の人事で派遣され、防衛医大卒の医師は防衛庁の人事で動きます。その他一般の医学部卒の医師は、自分の所属する医局教授の意向に沿って決められることがほとんどです。医局医師の人事権は大学の各医局の教授にあるので、医局員はその意向に従います。

従って、大多数の地方で働く医師は医局を通して派遣されており、これまでの地域医療はその人事の上に成り立ってきました。佐沼病院もそうなのです。最近でこそ病院への直接就職や県のドクターバンク(医師の登録派遣制度)の利用の医師が出てきましたが、まだ少数派といってもよいでしょう。ですから、今回の小児科や産婦人科の件も大学の事情を背景にした決定であり、市長や院長の決定でないことを明記しておきます。だからこそ登米市として、大学まで嘆願書や署名を持って行き、お願いに行っているのです。

ではなぜ、医師派遣が実現しないのでしょうか。大学の事情とはどんなことでしょうか。それについて次回お話しします。

地域医療連携室 室長 千葉正典(内科医師)

【問い合わせ】 市立佐沼病院 地域医療連携室

☎ 0220 (22) 5511(内線215) FAX 0220 (20) 7122

## 12月・1月の休日当番医

休日急患当番医 ☎ 0220 (22) 2084 (医師会)				
12/3(日)	米谷病院	東和町	☎0220 (42) 2007	
10(日)	島医	南方町	☎0220 (29) 6056	
17(日)	わたなべ内科クリニック	迫町	☎0220 (21) 5335	
23(祝)	佐藤内科医院	迫町	☎0220 (22) 2160	
24(日)	三浦消化器内科	中田町	☎0220 (34) 3611	
31(日)	佐幸医	迫町	☎0220 (22) 7003	
	二瓶内科胃腸科医院	迫町	☎0220 (22) 6508	
1/1(祝)	佐藤医	南方町	☎0220 (58) 2058	
	菅原内科クリニック	迫町	☎0220 (22) 0888	
2(火)	桜井医	登米町	☎0220 (52) 3936	
	やすらぎの里サンクリニック	南方町	☎0220 (29) 6060	
3(水)	上杉皮膚科医院	迫町	☎0220 (21) 1380	
	米川診療所	東和町	☎0220 (45) 2301	
診療時間 9:00~17:00 休日・夜間診療案内 ☎ 0229 (24) 2267 (24時間)				

## 大切な“いのち”を守るため

献血にご協力ください



12/3(日)	イオン(株)	10:00~12:00	全血 ※400mlのみ
	ジャスコ南方店	13:30~16:30	
6(水)	みやぎ生協加賀野店	13:00~16:30	全血
14(木)	南方総合支所	10:00~12:00	全血
		13:00~16:00	
26(火)	中田総合支所 ヨークベニマル佐沼店	10:00~12:00	全血
		13:30~16:30	
1/5(金)	津山ふれあいセンター 豊里健康管理センター	10:00~12:00	全血
		13:30~16:30	

【問い合わせ】

市民生活部健康推進課  
健康推進係

☎ 0220 (58) 2116





佐藤 萌野ちゃん  
(迫町萩洗・徳行さん)



千葉 一真くん  
(迫町八日町・知規さん)



丹野 陽菜ちゃん  
(迫町八幡・潤一さん)



木村 愛実ちゃん  
(迫町上舟丁・和志さん)



内海 菜羽ちゃん  
(中田町本町畑中・真さん)



小野寺 絢香ちゃん  
(中田町新小路・勇志さん)



飯塚 海斗くん  
(迫町八幡・崇治さん)



山内 咲弥ちゃん  
(迫町内町・賢一さん)

11月17日までの  
3歳児健診(3歳  
6カ月~7カ月児)で  
むし歯がなかった子は、  
市内4地区で  
35人中21人でした



鈴木 里菜ちゃん  
(中田町南加賀野・秀則さん)



安倍 朋香ちゃん  
(中田町南加賀野・誠さん)



千葉 空都くん  
(中田町本町畑中・大志さん)



浅野 優月くん  
(中田町十文字・玲子さん)



千葉 咲花ちゃん  
(東和町米川第4区・勝四さん)



佐藤 太一くん  
(中田町加賀野二区・静樹さん)



及川 朋哉くん  
(中田町本町畑中・博勝さん)



山家 陸くん  
(中田町南加賀野・英樹さん)



國分 詩音くん  
(中田町城内・宏さん)



佐藤 愛桜ちゃん  
(石越町新道・英明さん)



猪股 春菜ちゃん  
(石越町第九区・厚志さん)



菅原 希望ちゃん  
(石越町第一区・俊征さん)



及川 七笑ちゃん  
(東和町錦織第1区・進さん)



## 障害者就業相談のお知らせ

【相談日】 12月26日(火)

【場所・時間】 南方総合支所 午前10時~正午  
津山総合支所 午後2時~4時

【申し込み】 予約制です。お住まいの総合支所市民福祉課  
市民福祉係へ申し込みください。

【問い合わせ】 福祉事務所社会福祉課 ☎ 0220(58)5551  
各総合支所市民福祉課 市民福祉係

## 母子健康手帳の交付・妊産婦相談

毎週月曜日 8:30~11:30

母子健康手帳は原則として、住所地の総合支所市民福祉課健康づくり係で交付します。上記以外においての際は、事前にご連絡ください。

また、妊産婦の健康相談も行っています。気軽にご相談ください。電話での相談も随時、受け付けています。

## 県登米保健福祉事務所 (保健所) 健康相談など

各種相談・登録ができます。プライバシーは守られますので、安心してご相談ください。

### 【12月の相談日】

期日	事業名	予約先電話番号
7(木)	精神保健福祉相談 (こころの相談)	0220 (22) 6118
12(火)	引きこもり・ 思春期専門相談	0220 (22) 6118
12(火)	骨髄提供希望者 登録日	0220 (22) 6119
15(金)	精神保健福祉相談 (こころの相談)	0220 (22) 6118
20(水)	アルコール 家族教室	0220 (22) 6118
21(木)	認知症専門相談	0220 (22) 6117
26(火)	骨髄提供希望者 登録日	0220 (22) 6119

【相談料】 無料

【注意事項】 予約が必要です。日程など変更する場合がありますので、予約の際に電話で確認してください。

### 【問い合わせ】

県登米保健福祉事務所  
企画総務班  
☎ 0220 (22) 7514

## 12月10日～16日までは 「北朝鮮人権侵害問題啓発 週間」です

毎年12月10日から16日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。



北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮当局による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止することを目的として制定されたものです。

### 【問い合わせ】

佐沼警察署 ☎ 0220 (22) 2121  
登米警察署 ☎ 0220 (52) 2121

## 裁判所からのお知らせ

12月の広報テーマは「新しく始まった労働審判制度」です。詳しくは、最高裁ホームページをご覧ください。

【URL】 <http://www.courts.go.jp/>

### 【問い合わせ】

仙台地方裁判所事務局総務課  
☎ 022 (222) 6111  
仙台家庭裁判所事務局総務課  
☎ 022 (222) 4165

## パソコン相談室

### ◆パソコン教室

ワードで簡単綺麗に年賀状を作ってみませんか。

### 【日時】

12月12日(火) 午前10時～正午  
12月15日(金) 午後7時～9時

【場所】 迫にぎわいセンター

【受講料】 2,000円

【申込期限】 受講日の前日

### ◆無料相談会

パソコンで困っている人のため、無料相談会を開催します。パソコン持ち込み可能な人は、持参してください。

【日時】 12月24日(日)

午前10時～正午

【場所】 津山公民館 2階 会議室

【申込期限】 12月22日(金)

### 【申し込み・問い合わせ】

NPO法人パソコン・ネット・みやぎ  
☎ 0220 (21) 5262

## 登米祝祭劇場 12月のイベント情報

登米祝祭劇場  
☎ 0220 (22) 0111

### ◇浅野初江ちぎり絵展

1日(金)～28日(木)  
午前10時

【入場料】 無料

### 【問い合わせ】

登米祝祭劇場  
☎ 0220 (22) 0111

### ◇えほん・おもちゃであそぼう!!

9日(土) 午前10時

【入場料】 親子 300円

### 【問い合わせ】

NPO法人 すくすく保育研究所  
☎ 090 (2999) 8253

### ◇第7回股旅演歌舞踊全国大会

10日(日) 午前10時

【入場料】 前売り 2,500円

### 【問い合わせ】

第7回股旅演歌舞踊全国大会  
実行委員会  
☎ 0225 (76) 1564

### ◇米岡小・石越小

ジョイントコンサート

16日(土) 午後2時

【入場料】 無料

### 【問い合わせ】

米岡小学校  
☎ 0220 (55) 2009

### ◇第12回登米市合唱祭

17日(日) 午後1時30分

【入場料】 無料

※整理券が必要

### 【問い合わせ】

第12回登米市合唱祭  
実行委員会  
☎ 0220 (34) 4938

## 白鳥スマイルキッズデー 参加者募集

親子で体験保育ができます。

また、専任保育士が育児相談にも応じます。

**【対象者】** 乳児～就学前の児童

**【内容】** もちつき大会

**【日時】** 12月12日（火）

午前9時30分～11時

**【場所】** 白鳥保育園（南方町）

**【参加費】** 1人300円

**【申し込み・問い合わせ】**

白鳥保育園

☎ 0220 (58) 2681

※随時、受け付けします。



## 伊豆沼・内沼の自然 フォトコンテスト 作品募集

伊豆沼・内沼とその自然にかかわる人々を題材とした写真を募集します。

**【応募期間】**

12月1日（金）～31日（日）

**【主題】** 「伊豆沼・内沼の自然」、「伊豆沼・内沼にかかわる人々」

**【作品規定】** 原則としてカラー、白黒とも4つ切りまたは4つ切りワイドとする。継ぎ合成、組写真は対象外とします。

**【応募規定】** ①一人1点②未発表のもの③伊豆沼・内沼で撮影したもの④平成18年1月1日以降に撮影したもの⑤画題、氏名、住所、年齢、電話番号、撮影年月日、取扱店を記入した応募票を裏面に貼る⑥作品は返却しません⑦著作権は主催者に帰属し、入賞者に後日、原稿を提出していただきます⑧規定に違反したときは、入選後でも取り消します⑨作品への異議申し立てなどがあった場合は、すべて応募者の責任とします

**【各賞】**

最優秀賞1点（賞金10万円）

優秀賞1点（賞金5万円）  
金賞2点（賞金3万円）ほか

**【応募先・問い合わせ】**

〒989-5504

栗原市若柳字上畑岡敷味17番地の2

県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター内 写真展事務局

☎ 0228 (33) 2216

## ランプスタンド展

ランプスタンド、茶香炉を展示します。やさしい光の作品で癒されてみませんか。

**【日時】** 12月20日（水）～26日（火）

午前10時～午後5時

**【場所】** 豊里花の公園・ふるさとセンター

**【入場料】** 無料

**【問い合わせ】** Rivers陶房 鈴木

☎ 090 (1069) 6896

## ふくし車座集会in登米 ～自分らしく生きる・希望と創造～

登米圏域の障害児（者）の支援に関する知識・技術の向上とネットワーク化を進めるため、研修会を開催します。

**【日時】** 12月15日（金）

午前9時45分～午後0時30分

**【場所】** 登米祝祭劇場 小ホール

**【内容】** ▶第1部＝講演、演題：みやぎ保健医療福祉プランについて、講師：県保健福祉部地域福祉課長 小林泰隆さん▶第2部＝フリートーク、テーマ：自分らしく生きる・希望と創造、アドバイザー：県障害者職業センター所長、「食品販売ともづな」の代表者

**【定員】** 100人程度

**【申込方法】** 電話、ファクシミリ、電子メールのいずれかで申し込みください。ファクシミリ、電子メールの場合は、住所、氏名、電話番号、託児の必要の有無（有の

場合は人数と年齢）を記入の上、申し込みください。

**【申し込み・問い合わせ】**

社会福祉法人恵泉会

地域生活支援センター

☎ 0220 (21) 1011

FAX 0220 (21) 1012

☒ keisen-chiiki.shien@alpha.

ocn.ne.jp

## 県立盲学校 「冬季教育相談会」

見えにくいことで困っている人、悩んでいる人のために、個別の相談会を行います。

乳幼児、児童生徒、その保護者、成人、教員、福祉関係の人など、どなたでも参加できます。

どんなささいなことでも構いません。気軽に相談してください。

**【日時】** 12月25日（月）

午前10時～午後3時

**【場所】** 県立盲学校（仙台市青葉区上杉6-5-1）

**【申込方法】** 電話、ファクシミリ、電子メールで申し込みください。

ファクシミリ、電子メールの場合は、住所、氏名、電話番号、相談内容を記入の上、冬季教育相談会参加希望と明記してください。

**【申込期限】** 12月15日（金）

**【申し込み・問い合わせ】**

県立盲学校 教育支援相談部

☎ 022 (234) 6333

FAX 022 (234) 7974

☒ soudan@miyagi-mogakko.

myswan.ne.jp

## 社会保険相談所開設

健康保険、国民年金など社会保険全般について相談に応じます。

**【12月の開設日】** 12月20日（水）

**【時間】** 午前9時10分～正午  
午後1時～3時30分

**【場所】** 迫公民館

**【問い合わせ】**

古川社会保険事務所

☎ 0229 (23) 1200

## 国民年金だより

### 納めた国民年金保険料は税金の控除対象になります

国民年金の保険料は、所得税・住民税などを計算する際に、全額が社会保険料控除の対象として、所得金額から差し引かれます。

控除の対象となるのは、平成18年1月から12月までの間に納められた保険料です。これには、免除されていた期間の保険料や過去に納め忘れていた保険料を納めた場合も含まれます。

また、家族の分の保険料を納めたときは、納めた人がその分も申告できます。申告をするときは、社会保険庁から送付される控除証明書を添付の上、手続きを行ってください。

### 年金を受給している人が亡くなったときは届け出を

国民年金や厚生年金を受けている人が亡くなったときは、社会保険事務所へ「年金受給権者死亡届」を届け出なければなりません。

年金を受ける権利は、年金を受けている人が死亡するとなくなります。届出を忘れたり、遅れたりすると、死亡後も年金が支払われてしまい、後日遺族の人に返していただくことになります。

このようなことにならないように、速やかに届け出ることが必要です。

#### ◆未支給年金の請求

まだ受け取っていない年金があるときは、亡くなった人と生計を一緒にしていた遺族の人が受け取ることができます。優先する順位がありますので、より優先する人が死亡届と併せて請求を行ってください。

※受け取れる遺族と順位＝配偶者・子・父母・孫・祖父母・兄弟姉妹

必要な書類は届け出る人によって異なりますので、事前に社会保険事務所にご確認ください。

なお、寡婦年金や障害基礎年金、遺族基礎年金のみを受けている人が亡くなった場合は、各総合支所市民福祉課市民福祉係が受付窓口になります。

【問い合わせ】 市民生活部市民課 ☎ 0220 (58) 2118

古川社会保険事務所 ☎ 0229 (23) 1200

## 「年末年始の交通事故防止運動」

～12月15日から平成19年1月7日までの24日間～

この時期、帰省・初詣・行楽旅行など車の利用が多くなり、交通事故が多発します。

また、忘年会・新年会など飲酒の機会が多くなりますので、「冬道の安全運転1・2・3運動」と連動させ、飲酒運転・スリップ事故などの交通事故防止に努めましょう。

1 割、スピードダウンしよう

2 倍、車間距離を取ろう

3 分、早めに出発しよう



## 暮らしの 情報

### 登米のまほろば逸品展

市内の工房で生まれた作品をご覧ください。

【日時】 12月2日(土)～10日(日)  
午前10時～午後4時

【場所】 豊里花の公園・ふるさとセンター2階ギャラリー

【展示内容】 絵画、フラワーアレンジメント、古布の人形、江戸独楽、陶器、サンドブラスト、木挽きの蛙、木綿のバッグ、ステンドグラス、とんぼ玉ほか

【入場料】 無料

【問い合わせ】 とんぼ玉工房  
K・House 一條

☎ 0220 (55) 4218

### 第2回登米市水の里杯 空手道競技大会

幼児から高校生までの子どもたちが、組手や形で競います。日ごろの練習の成果をご覧ください。

【日時】 12月10日(日)

午前10時競技開始

【場所】 登米総合体育館(蔵ジウム)

【問い合わせ】 大会事務局 藤原

☎ 090 (2841) 5441



## ホームページに手話動画のページを掲載しました

### 手話への理解をお願いします

「手話で楽しい会話をしましょう!」。市では、手話の動画をホームページに載せています。聴覚障害の人が使う手話への理解を深めていただきたいということで、市内の聴覚障害の人の協力を得て作りました。

聴覚障害は、外見では判断できない障害です。しかし、聞こえないために、「会話がうまくできない」「病院や市役所で名前を呼ばれても分からない」「家に居てもチャイムの音が聞こえない」「後ろから来る車に気付かない」などの不便さがあります。

また、災害時には避難の方法が分からずに避難しなかったり、水や食料の配給の連絡が聞こえず、結局もらえなかったりしたということが報告されています。

ファクシミリ、携帯電話でのメール、テレビ電話の普及、テレビでの文字放送の拡大、多くの場所での電光表示の増加などにより、以前と比べて聴覚障害の人は暮らしやすくなっているといわれています。

しかし、身近な人たちとコミュニケーションをとることは、一番大切なことです。市内には約400人の聴覚障

害の人が生活していますが、日常生活や職場などでさまざまな不安、問題を抱えて過ごしていると思います。そこで、身近な人たちがホームページの手話動画をきっかけに、手話や筆談を使っているいろいろな話ができるようになれば、聴覚に障害のある人たちも、この地域で安心して暮らすことができるようになるでしょう。

### あいさつ、市内の地名、日常会話を載せました

今回は、あいさつの仕方や市内の地名、日常会話の一部を載せました。手話動画は、それぞれ2回繰り返します。これは、モデルになった聴覚障害の人から、手話を覚えてもらうためにも繰り返し見てほしいという意見があり、このようなスタイルにしました。多くの人に見てもらい、聴覚障害や手話について関心を持っていただきたいと思っています。

【問い合わせ】 福祉事務所社会福祉課 障害福祉係  
☎ 0220 (58) 5551

### 手話であいさつをしてみましょう

手話は、日本語や英語と同じように言語の一つです。現在、日本で使われている手話辞典の見出し語数だけでも8,000語以上あります。

下の写真は、普段手話でよく使うあいさつです。ホームページでモデルになった鈴木文彦さん（中田町）に紹介してもらいます。

こんにちは



ありがとう



よろしくお願いします



### 手話通訳相談員を知っていますか

福祉事務所（市役所南方庁舎内）では今年4月、聴覚に障害のある人を支援するため、手話通訳相談員を設置しました。

週3日（月・水・木曜日）勤務していますので、気軽に相談してください。また、県の相談員は週3日（月・火・金曜日）登米合同庁舎に勤務しています。

5人以上集まれば、あいさつなど簡単な手話を教える事業も行っています。詳しくは、福祉事務所社会福祉課障害福祉係に問い合わせください。



市手話通訳相談員の  
千田春夫さん

市ホームページ

# バナー広告を掲載しませんか？

ホームページアドレス：<http://www.city.tome.miyagi.jp/>



募集枠



市ホームページへの民間企業などの広告掲載を通じ、地域経済の活性化を目的に掲載するバナー広告を募集します。

企業のPRや商品イメージアップに、ぜひご利用ください。

【募集ページ】市ホームページのトップ

【募集枠数】10枠

【月額広告掲載料】6,000円～10,000円

※掲載期間により料金が異なります。

【規格】

◇サイズ：縦60×横120ピクセル

◇画像形式：GIF、JPEG

◇容量：4KB以内

【アクセス件数】月平均27,000件

【申込方法】「登米市ホームページ広告掲載申込書」に必要事項を記入し、電子メールまたはファクシミリ、郵送により総務課へ申し込みください。申込書のダウンロードおよび申し込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

【申込締切】平成19年1月4日（木）

【掲載開始日】平成19年2月1日（木）

【申し込み・問い合わせ】

〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

総務部総務課 広報係

☎0220 (22) 2090 FAX0220 (22) 9164

✉koho@city.tome.miyagi.jp



## とめ市 web calendar

### スケジュール掲示板をご利用ください

市ホームページのスケジュール掲示板には、市民皆さんがイベントなどの情報を直接書き込めるようになっています。

参加募集などにはメール返信もでき、書込者に通知することもできます。

市が開催するイベント情報なども掲載しています。簡単で便利なスケジュール掲示板をご利用ください。

【URL】<http://www.city.tome.miyagi.jp/cgi/webcal/webcal.cgi>

【掲載内容】祭り、講習会、地域行事など各種情報

市が書き込んでいる主な情報

- ※ 献血
- ※ 休日当番医
- ※ 健診・予防接種
- ※ まつりなどのイベント情報
- ※ 各種相談会 など

【問い合わせ】総務部総務課 広報係 ☎0220 (22) 2090

日	曜日	時間	スケジュール
1	金	10:00~11:30	シニアボカアップ-鳥取-本橋島 / 緑野 / 石巻公民館
2	土		
3	日	09:00~12:00	農業研修会(農業大学) / 場所: 東米町農業センター
4	火	12:30	南米-山 / 1歳から児童センター / 場所: 南米児童センター
5	水	09:00~13:00	南米 乳児発達室 / 場所: 南米児童センター 13:00~15:00 南米 児童発達室 / 場所: 南米児童センター
6	木	09:30~12:00	シニアボカアップ-青森-モンクニュースポーツ / 場所: 石巻総合運動公園-石巻市民センター 13:00~15:00 シニアボカアップ-青森-モンクニュースポーツ / 場所: 石巻総合運動公園
7	金	10:00~11:30	シニアボカアップ-鳥取-本橋島 / 緑野 / 石巻公民館
8	土	08:00~18:00	南米町シニアボカアップ / 場所: 南米町総合運動センター 09:00~13:00 南米町シニアボカアップ / 場所: 南米町総合運動センター
9	日		
10	月		
11	火	12:30	南米-山 / 1歳から児童センター / 場所: 南米児童センター
12	水	12:30	南米-山 / 1歳から児童センター / 場所: 南米児童センター
13	木	13:00	シニアボカアップ-青森-モンクニュースポーツ / 場所: 石巻公民館 13:00~15:00 シニアボカアップ-青森-モンクニュースポーツ / 場所: 石巻公民館
14	金	10:00~11:30	シニアボカアップ-鳥取-本橋島 / 緑野 / 石巻公民館
15	土	12:30	南米-山 / 1歳から児童センター / 場所: 南米児童センター
16	日		
17	月		
18	火	09:30~	南米 乳児発達室 / 場所: 南米総合児童センター
19	水	13:00	南米 児童発達室 / 場所: 南米総合児童センター
20	木	10:00~11:30	シニアボカアップ-青森-モンクニュースポーツ / 場所: 石巻公民館 12:30 南米-山 / 1歳から児童センター / 場所: 南米児童センター
21	金	12:30	南米-山 / 1歳から児童センター / 場所: 南米児童センター
22	土	13:00	南米 児童発達室 / 場所: 南米総合児童センター
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木		
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		

## 善意に感謝します

市に対し、寄付をしていただきました。

### ◆市立病院のため

水野 隆幸 様 (登米)

現金 5万円

### ◆登米市のため

亙理 英子 様 (神奈川県)

亙理 英徳 様 (神奈川県)

亙理 幸子 様 (神奈川県)

亙理 英美 様 (神奈川県)

亙理 優美 様 (神奈川県)

現金 5万円

### ◆幼稚園行事に役立つよう

永浦 貞志 様 (迫)

屋外装飾用照明一式

### ◆交通事故防止に役立つよう

佐々木 法雄 様 (中田)

赤色回転灯 1基・自動点滅器 1基

### ◆佐沼中学校図書室図書充実のため

上杉 恭弘 様 (迫)

書籍 29冊

### ◆石森小学校の正門として

麻喜 総一郎 様 (中田)

石森小学校校門

### ◆登米図書館蔵書の充実のため

金田 千秋 様 (登米)

書籍 (12巻) ならびにビデオ

### ◆中田総合体育館来館者のため

(株)盛総合設計

代表取締役 栗原 憲昭 様

(仙台市)

車いす 1台

### ◆救急救命活動充実のため

佐沼ロータリークラブ

会長 山田 直志 様 (迫)

自動体外式除細動器 3台

### ◆南方新庁舎等施設完成記念植樹のため

高橋 鈴 様 (南方)

チャボヒバ 10本

### ◆こじか園備品充実のため

豊里町ポプラの会

会長 芳賀 憲一 様 (豊里)

現金 3万円

### ◆陶芸活動充実のため

羽生 宏 様 (登米)

電動ろくろ

### ◆地域社会の明るい街づくりに向け

た取り組みのため

東北電力(株) 栗原登米営業所

所長 丹野 幸雄 様 (栗原市)

街路灯 25灯

### ◆市民皆さんのため

ソニーケミカル&

インフォメーションデバイス(株)

代表取締役社長 月丘 誠一 様

(中田)

液晶テレビ (52型) 1台

### ◆福祉のため

迫屋鉄工所

伊藤 鉄次 様 (中田)

現金 1万円

### ◆登米公民館のため

佐藤 祥子 様 (松島町)

鏡台 1台

※希望により、掲載していない人もあります。

ありがとうございました。

(平成18年11月9日現在)

## インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザにかかると、38度以上の熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が強く、普通の風邪と同様に、のどの痛み、鼻水などの症状も見られます。

高齢者や小児、呼吸器や心臓などに慢性的の病気がある人は、症状がひどくなる場合もありますので、十分注意が必要です。

インフルエンザの予防は、手洗い、うがい基本です。流行の時期になりましたので、自分でできる予防を心掛けましょう。

予防の基本は  
手洗い・うがい



### 予防するために

- ①外出後は手洗い・うがいをしましょう
- ②睡眠を十分に取り、バランスよく栄養を取りましょう
- ③重症化防止のために予防接種を受けましょう
- ④流行時には人ごみをさけるようにしましょう
- ⑤大勢の中に入るときはマスクを着用しましょう
- ⑥適度な温度・湿度を保ちましょう

### 最近

「新型インフルエンザ」ということばを耳にしますが…

#### ◆新型インフルエンザとは

今まで人に感染しなかったインフルエンザウイルスの性質が変わることによって、人に感染するようになり、さらには人から人に感染するようになります。この性質の変わったウイルスによるインフルエンザを「新型インフルエンザ」といいます。

現状では、新型インフルエンザは出現していませんが、今後出現するのではないかとわれています。

#### ◆新型インフルエンザの予防はどうしたらいいの？

通常のインフルエンザと同様に、感染予防をすることが重要です。

予防のために、手洗い・うがい、マスクを着用しましょう。

また、ほかの人にうつさないように、咳が出るときは、マスクの着用、ティッシュペーパーを使用するなどのマナーが重要です。

## 第2回登米市卓球大会

参加者を募集します。

**【日時】** 12月17日(日)

午前9時試合開始

**【場所】** 中田総合体育館(なかだアリーナ)

**【参加資格】** 市内在住者と市内に勤務・在学している人、市内クラブ在籍者

**【参加料】** ▶シングルス：小学生＝300円、中学生＝500円、高校生＝600円、大学生・一般＝1,000円  
▶ダブルス：1組1,000円

**【申込方法】** 申込書に必要事項を記入し、郵送で申し込みください。申込書は各教育事務所にあります。

**【申込期限】** 12月8日(金)必着

**【申し込み・問い合わせ】**

〒987-0611

登米市中田町浅水字駒形104

佐藤 成賢 あて

☎ 0220 (34) 6212

※午後7時以降におかけください。

☎ 090 (4883) 0989



## 博物館からのお知らせ

◆企画展「広報誌にみるくらし～昭和の写真展～」

市内の広報資料から昭和30年代を中心に拾い上げ、「写真を通じた地域史」としてさまざまな暮らしの様子を展示しています。

ぜひご覧ください。

**【期限】** 平成19年1月28日(日)

**【時間】** 午前9時～午後4時30分

**【場所】** 歴史博物館 研修室

◆昭和の布・ふろしき実演会

お話と実演でふろしきを楽しんでみましょう。見学する人も自由にふろしき包みを体験できます。

**【日時】**

12月3日(日)、平成19年1月20日(土)、両日とも①午前10時30分～②午後1時30分～

**【場所】** 歴史博物館 研修室

◆昭和のおもちゃ・へどごま作り実演会

今では見る事がなくなった昭和のおもちゃ「へどごま」作りの実演会を開催します。へどごま作りの体験もできます。

**【日時】** 12月17日(日)

午前10時30分～

**【場所】** 歴史博物館 研修室

**【実演】** 高橋 仲至さん

**【問い合わせ】** 歴史博物館

☎ 0220 (21) 5411

※休館日＝月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

## E3ガソリン実証実験説明会

市では、地球温暖化防止に役立つバイオ・エタノールの普及を進めるため、新年度以降、条件が整い次第、一部の公用車などでE3ガソリン(バイオ・エタノールが3%含まれたガソリン)の実証実験を行う計画です。

実証実験を市民との協働で進めるため、E3ガソリンに関心のある人やE3ガソリンの製造・給油、排気ガス分析など、実証実験への協力を希望する人を対象に説明会を行います。

**【日時】** 12月22日(金)午後2時～

**【場所】** 市役所南方庁舎 2階 大会議室

**【問い合わせ】**

市民生活部環境課 環境保全係

☎ 0220 (58) 5553

## 製造事業所の皆さんへ

### 統計調査にご協力ください

平成18年工業統計調査を12月31日現在で行います。

調査の実施に当たっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。

なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

**【問い合わせ】**

企画部企画調整課 統計係

☎ 0220 (22) 2147

## 歯周疾患(歯周病) 検診は受けましたか

市では40歳の人を対象に「歯周疾患検診」を実施しています。

歯周病の始まりは自覚症状が乏しく、40歳以降に歯を失う大きな原因となっています。自分の口の中を知り、生涯を通じた健康づくりのためにも忘れずに40歳の節目検診「歯周疾患検診」を受けましょう。

**【対象】** 昭和41年4月1日～昭和42年3月31日生まれの市民

**【料金】** 無料

**【検診期限】** 12月25日(月)

**【検診会場】** 市内協力医療機関(「歯周疾患検診のご案内」に掲載)

**【注意事項】** 検診を受ける際は希望医療機関に予約の上、無料受診券(対象者へ配布済)を持参し受診してください。検診以外の治療を希望する人は有料になりますので、保険証を持参してください。

**【問い合わせ】** 市民生活部健康推進課 健康推進係

☎ 0220 (58) 2116

## るるぱのパソコン講座 受講生募集

南方住民情報センター「るるぱ」では、市民のIT技術向上を目的としてパソコン講座を開催します。興味のある人はぜひご参加ください。

### ①パソコン入門講座（初心者向け）

**【日時】** 12月20日（水）～22日（金）  
午後7時～9時

**【内容】** パソコンを使うための基礎知識、電源の入れ方、マウス操作、文字入力などを中心に初心者向けの勉強をします。

**【受講資格】** パソコンを使ったことがない人、もしくは使ったことはあるが操作方法を忘れてしまった人など

**【定員】** 18人（先着順）

### ②文書作成（ワード）初級講座

**【日時】** 平成19年1月17日（水）～19日（金）午後7時～9時

**【内容】** 文書作成ソフト（ワード）の基本用語、基本操作、文書作成などを中心に初級操作を勉強します。

**【受講資格】** 入門講習を受講した人、もしくは同等程度の知識のある人

**【定員】** 18人（先着順）

### ①・②共通事項

**【対象】** 市内に在住または勤務・在学している人

**【場所】** 南方住民情報センター（南方庁舎内）シアターホール

**【参加費】** 1,000円（テキスト代）

**【受け付け】** 12月8日（金）  
午前10時から電話受け付け開始

### 【申し込み・問い合わせ】

南方住民情報センター「るるぱ」  
☎ 0220 (58) 5557

▶開館日＝火曜日～日曜日の午前9時～午後5時

▶休館日＝月曜日・祝日（土・日を除く）・年末年始



## 迫図書館 12月のおはなし会

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。

**【日時】** 12月2日（土）、16日（土）  
午前10時30分～

**【場所】** 迫図書館 2階研修室

**【問い合わせ】** 迫図書館  
☎ 0220 (22) 9820

## 消費生活出前相談

各総合支所で、消費生活についての相談や苦情を聞き、解決するための手伝いをします。

### 【12月の相談日】

開催日	開催場所
1日（金）	迫総合支所
4日（月）	南方総合支所
7日（木）	登米総合支所
11日（月）	東和総合支所
14日（木）	豊里総合支所
18日（月）	米山総合支所
21日（木）	石越総合支所
25日（月）	津山総合支所

**【時間】** 午前10時～午後3時

**【相談料】** 無料

※相談日以外は、商工観光課で相談員が応じています。

### 【問い合わせ】

産業経済部商工観光課 商工振興係  
☎ 0220 (34) 2734

## 🐾 犬・猫引き取り日

### ◆12月14日（木）

（登米・豊里・米山・南方・津山）

### ◆12月26日（火）

（迫・東和・中田・石越）

※受け付けは午前9時30分まで

### 【持ってくるもの】

印鑑、鑑札（犬の場合）

### 【受け付け・問い合わせ】

各総合支所地域生活課 地域係

## お知らせの 問い合わせ先

登米市役所	☎0220 (22) 2111
迫総合支所	☎0220 (22) 2213
登米総合支所	☎0220 (52) 2111
東和総合支所	☎0220 (53) 4111
中田総合支所	☎0220 (34) 2311
豊里総合支所	☎0225 (76) 4111
米山総合支所	☎0220 (55) 2111
石越総合支所	☎0228 (34) 2111
南方総合支所	☎0220 (58) 2111
津山総合支所	☎0225 (68) 3111

## 12月の納税

市県民税 4期  
国民健康保険税 7期

納期限 12月28日（木）

忘れずに納めましょう

※口座振替の人は、通帳の残高を確認してください。

## 12月の夜間相談窓口開設日

**【日時】** 12月26日（火）  
午後8時まで

**【場所】** 市役所迫庁舎1階  
総務部 徴収対策課

## 登米市のデータ

人口・世帯数  
（平成18年10月末現在）

地区	世帯数	人口		
		男	女	計
迫	7,183	10,805	11,504	22,309
登米	1,835	2,720	3,029	5,749
東和	2,582	3,950	4,128	8,078
中田	4,577	8,094	8,591	16,685
豊里	1,989	3,488	3,652	7,140
米山	2,860	5,294	5,535	10,829
石越	1,598	2,907	3,014	5,921
南方	2,484	4,486	4,805	9,291
津山	1,223	1,985	2,117	4,102
合計	26,331	43,729	46,375	90,104

# 市からの お知らせ

## 市営住宅入居者募集

### ◆石越駅前住宅

(石越町南郷字小谷地前157番地2)

募集戸数 1戸 (3K)

家賃月額 5,600円～9,300円

【申し込み】 石越総合支所  
地域生活課 産業建設係

### ◆米山西野第1住宅

(米山町西野字見通3番地1)

募集戸数 1戸 (2DK)

家賃月額 9,600円～15,900円

【申し込み】 米山総合支所  
地域生活課 産業建設係

### 【募集対象者】

現に住宅に困っている世帯

※重複して申し込みすることはできません。

### 【入居資格】

①入居収入基準が20万円未満であること(世帯全員の合計所得額より算出します)。

②同居する親族がいること(婚姻予定も可)。

※原則として単身での入居はできませんが、50歳以上の人、身体障害者手帳1級から4級までを所持

## トレーニングルーム 利用者講習会

12月15日(金) 午後7時～  
定員50人(要予約)

【受付開始】 12月5日(火)

【問い合わせ】 なかだアリーナ  
☎ 0220 (34) 7302

している人は単身入居することができます。

③入居者全員に市税の滞納がないこと。

【申込期限】 12月15日(金)期限厳守

### 【問い合わせ】

建設部建築課 住宅管理係

☎ 0220 (34) 2316

## 津山診療所の診察日・ 受付時間変更のお知らせ

豊里病院津山診療所では、医師の退職により平成18年12月から診察日、受付時間を変更します。

なお、診察は豊里病院の渡邊院長が担当します。

### 【診察日】

月曜日、水曜日、金曜日

### 【受付時間】

午後1時30分～4時30分

### 【問い合わせ】

津山診療所 ☎ 0225 (68) 3531

豊里病院 ☎ 0225 (76) 2023

## 人権講演会(夜回り先生 講演会)時の駐車場の お知らせ

12月9日(土)午後2時から中田アリーナで開催する水谷修先生の講演会の駐車場は、中田アリーナ駐車場のほか、ソニーケミカル&インフォメーションデバイス株の東側空き地と中田中学校の駐車場を準備しています。

それぞれの駐車場からは、シャトルバス(午後0時45分から1時45分)を運行しますので、ご利用ください。

なお、駐車台数に限りがありますので、乗り合わせの上、ご来場ください。

※入場券のない人は入場できません。

※開演後は入場できません。

### 【問い合わせ】

市民生活部市民課 市民係

☎ 0220 (58) 2118

## 12月の第4日曜日に 窓口サービスを実施します

窓口サービス充実のため、12月の第4日曜日に窓口サービスを実施します。

取り扱う業務は下記のとおりです。それ以外の業務は、月曜日から金曜日までの時間内(祝日を除く午前8時30分から午後5時15分)の受け付けとなりますので、ご注意ください。

◆実施日 12月24日(日)

◆実施時間 午前8時30分～午後5時

◆対象となる業務(出張所は除く)

戸籍謄本・抄本、住民票謄本・抄本、印鑑登録証明書、所得証明書、課税証明書、非課税証明書、納税証明書、固定資産評価証明書、公課(課税)証明書

また、10月から来年3月まで、毎月第1・第3水曜日の午後7時まで窓口サービスの時間を延長していますので、ご利用ください。

【問い合わせ】 市民生活部市民課 戸籍係 ☎ 0220 (58) 2118  
各総合支所市民福祉課

「鵜波洗堰と渡し舟」

豊里町鵜波地区に、北上川の改修や洪水防止、航路調整を目的とした、昭和7年完成の北上川と旧北上川の分流施設「鵜波洗堰」があります。

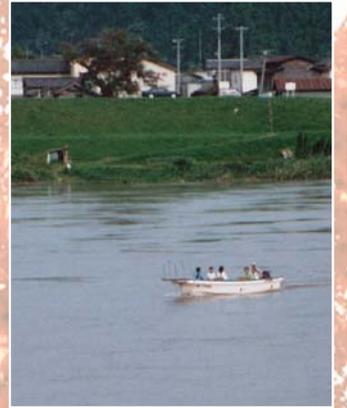
自然流下により一定量を分水するオリフィス式の堰に、水量が多いときは、その上を越えて水が流れる越流部を併せ持つ構造になっています。初夏には、天然の稚鮎、秋には遡上する鮭の漁が行われます。



「鵜波洗堰と渡し舟」

問い合わせ：【鵜波洗堰】国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所 ☎ 0225 (95) 0194 【渡し舟】津山総合支所地域生活課 ☎ 0225 (68) 3111

また、北上川の対岸、津山町との間を渡し舟が往来。心地良い川風を感じながら雄大な北上川の水面から見上げる空と緑は、ここからしか見ることのできない景色です。かつて北上川には、30カ所前後の船着場があり、通学や買物など、渡し舟は生活には欠かせない交通手段でしたが、車社会が進み、現在市内では1カ所のみでの運行となっています。乗船は無料で、船着場で待っていると船頭さんが乗せてくれます。ぜひ一度乗船してみてくださいはいかがでしょう。



雄大な北上川で昔懐かしい渡し舟に乗りながら見る景色は絶景です

# 石越冬のまつり

1/14(日)

【場所】石越総合運動公園特設会場

【イベント内容】

- 古守札焚上祭（どんと祭）【午後4時～】
- 抽選会【午後4時～8時】
- ステージイベント【午後6時～7時】  
(和太鼓演奏、よさこい踊り、バンド演奏ほか)
- 冬の花火【午後7時～8時】  
※天候不順の場合は1月15日(月)に順延。  
※みんなで「石越あじさい花火」を打ち上げませんか。  
1口500円から受け付けています。  
※企業PRや各種祈願花火も受け付中です。

【問い合わせ・花火受付】

石越冬のまつり奉賛会(登米中央商工会石越町支所内)

☎ 0228 (34) 2064

今年も魅せます  
冬の花火。  
豪華スターマインが澄みきった冬空に大輪の花を咲かせます！  
企業PRや各種祈願花火を受け付け中です。



編集室から

▼今年もとうとう残りあと1カ月となりました。広報の担当になつてからは、あつという間に過ぎていく毎日。ビデオで時間が早送りされているみたいですが、今年にはわたしにとって辛い経験がありました。それは妻が病気になる入院をしたことです。特集でもふれましたが、人間にとって健康でいられることが一番。その健康をあらためて考えさせられた1年でした(平井)

歴史博物館

広報ミニ展示室®

=白石宗実公着用の甲冑=



宗実公の兜には「也」の字の大立物が用いられています

伊達政宗は旗本の兜の前立を半月に定めていましたが、一隊を率いる重臣は自由とされ、それぞれ個性的な前立が使われていました。登米町の寺池城内に所在する「登米懐古館」には、白石宗実(1545～1599)公着用の甲冑があります。兜には金色の「也」の字を大立物にし、「我こそは白石若狭宗実也」ということを表しています。宗実公は、登米伊達家藩祖伊達宗直公の養父で、天正18年(1590)から水沢1万5千石を治め、その後の登米伊達氏の地位や格式の確立に大きな影響を与えました。

